保証書 （持込修理）

本書は、本書記載内容（右記載）で、無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品　番	VE-E690R　S/No.
お買い上げ年月日	年　月　日 お買い上げ年月日の記載がない場合、無料修理規定外となります。
保証期間	お買い上げの日から3年 （リモコンは1年。電池などの消耗品は除く。）
お客様　お名前	様
お客様　ご住所	〒 TEL（　　）
販売店　店名・住所	上欄に記入または捺印のない場合は、必ず販売店様発行の領収書など、お買い上げの年月日、店名等を証明するものを、お貼りください。

故障内容記入欄

無効

<無料修理規定>

1. 本書記載の保証期間内に、取扱説明書等の注意書に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、製品と本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
3. ご転居ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合は有料修理になります。
   （イ）使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障および損傷
   （ロ）お買い上げ後の移動、落下等による故障および損傷
   （ハ）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源（電圧、周波数）や異常電圧による故障および損傷
   （ニ）特殊な条件下等、通常以外の使用による故障および損傷
   （ホ）故障の原因が本製品以外にある場合
   （ヘ）本書のご提示がない場合
   （ト）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
   （チ）付属品や消耗品等の消耗による交換
5. 本書は、日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.

※本書を紛失しないように大切に保管してください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。 従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

株式会社ユピテル
〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33

6SS1608-A

テレコントロールエンジンスターター

YUPITERU

VE-E690R

アンサーバック Type

取扱説明書

■ 目　次

本機の機能について

特長を知る

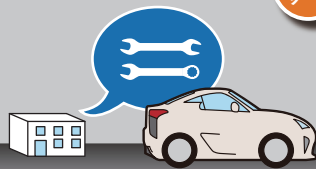
厳冬期も安定動作

本機のジャンクションユニットは
-30℃でも安定して動作します！

安心！

車検対応

本機は車検対応品です！

安心！

防滴仕様リモコン

多少の雨に濡れても大丈夫！

防滴！

※リモコンは簡易防滴構造です。水につけたり、雨に長時間濡らさないようにしてください。

満足の通信距離

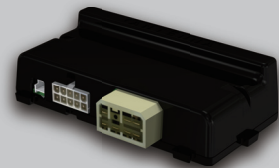
離れた場所でも安心！

長距離！

※見通しの良い場所での最大通信距離：約 3,300m
住宅地／ビル街での通信距離：約 200 ～ 1,200m

アンテナ内蔵型ジャンクションユニット

車内もスッキリ！

快適！

見やすい大画面液晶

バックライト搭載！

大画面！

機能を知る

アイドリング時間設定

34 ページ

季節や気候にあわせて
アイドリング時間を5段階から選択！

快適！

バックライト搭載

明快！

暗い場所でも液晶表示が見やすい！

サイレント操作

操作音なしのリモコン操作も可能。
マナーを守ってエンジン始動！

便利！

15 ページ

リトライ機能

22 ページ

エンジンが1回でかからなくても、
自動的にリトライ。リモコンにも
通知します！

自動！

ターボタイマー

ターボ車のアフターアイドリング
（冷却運転）に！

万全！

クールダウン…

13 ページ

温度センサー標準装備

快適！

車内の温度をリモコンに表示！

安全上のご注意

つづく

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。また、注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告：この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

⚠注意：この表示は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

絵表示について

- ⚠ この記号は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
- ⃠ この記号は、してはいけない「禁止」内容です。
- ❗ この記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。
- ☛ この記号は、関連するページを示します。

● 安全上お守りいただきたいこと

⚠警告

- 異物が入ったり、水に浸かったり、煙が出ている、変な臭いがする等、異常な状態のまま使用しないでください。発火の恐れがありますので、すぐに使用を中止して、修理をご依頼ください。
- 万一、破損した場合は、すぐに使用を中止する。そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。
- サービスマン以外の人は、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しないでください。感電や故障の原因となります。内部点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。
- 穴やすき間にピンや針金等の金属を入れないでください。感電や故障の原因となります。
- 破裂、発火や火傷の原因となりますので、本機を火の中、電子レンジ、オーブンや高圧容器に入れないでください。また、本機を加熱したりしないでください。
- 本機を次のような場所に保管しないでください。変色したり、変形したり、故障の原因となります。
  - 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が非常に高い所
  - 湿気やほこり、油煙の多い所
  - ダッシュボードや炎天下で窓を閉め切った自動車内

⚠注意

- 気温の低いところから高いところへ移動すると、本機内に結露が生じることがあります。故障や発熱などの原因となりますので、結露したまま使い続けないでください。
- 本機の外装を清掃する場合は水や溶剤は使わずに、乾いた柔らかい布で行ってください。内部に異物が入った場合は使用を中止し、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。
- 落としたり、強いショックを与えない。破損、故障の原因となります。
- 各端子に異物が入ると、故障の原因となることがありますので取り扱いにご注意ください。
- ベンジンやシンナー等の揮発性の薬品を使用して拭かないでください。塗装面を傷めます。
- 濡れた手で操作しないでください。感電の原因となります。
- ⚠ 本機は精密機械です。静電気/電気的ノイズ等でデータが消えることがあります。データが消えると作動しません。

⚠注 意

- 同梱品の乾電池は、動作確認用のサンプルです。短時間の使用しかできませんので、お早めに新品電池と交換してください。
- 乾電池を充電したり、分解しないでください。破損や発火、故障の原因となります。
- 乾電池を鍵やネックレス、コインなどの金属小物と一緒にポケットなどに入れないでください。感電、ショートの原因となります。
- 長時間ご使用にならない場合は、乾電池を外して保管してください。乾電池が液漏れを起こし、本機を故障させることがあります。また、衣類などを汚す原因となります。液漏れしたときには、本機についた液をよく拭き取ってから、新しい乾電池と交換してください。
- 使用済みの乾電池を火中に投げ入れないでください。爆発して火災や火傷の原因となります。
- 指定以外の乾電池は使用しないでください。また、新品と使いかけ乾電池を同時に使用したり、ブランドが異なる乾電池を同時に使用しないでください。
- 電池の極性（＋、－）を正しく入れて下さい。

⚠警 告

- シフトレバーは必ずパーキング（P）の位置で、パーキングブレーキをかけた状態で使用してください。思わぬ事故の原因になり大変危険です。
- リモコンはお子様の手の届かない場所に保管してください。お子様が勝手にエンジンを始動させ、事故の原因となります。
- 必ずボンネットが閉まっている状態で使用してください。エンジン部の作業中にエンジンが始動すると、大変危険です。
- 思わぬ事故を防ぐために、次のような場合は、必ずリモコンの電池を抜いてください。
  - ボンネットを開けるとき
  - 整備や車検などで車両を第三者に預けるとき
  - 本機の使用方法を理解されていない方が運転するとき
  - 長期間車両を使用しないとき
- あらかじめ駐車時には以下のことを守ってください。
  - ワイパー、ラジオ（オートアンテナ車の場合）をOFFにしてください。エンジン始動を行ったときに動き出すので危険です。また凍結した場合、モーターの損傷や車種別専用ハーネスのヒューズ切れを起こす恐れがあります。
  - すべての窓を閉めてください。
  - すべてのドアを施錠（ロック状態）してください。
  - 坂道や傾斜地でご使用になるときや、冬期でパーキングブレーキを解除して使用するときは、必ず輪止めをしてください。

安全上のご注意

車両の周囲の安全を十分に確認できる範囲で使用してください。

走行するときは、いったん本機でエンジンを停止させ、必ずキーで再始動する。本機でエンジンを始動させた状態では走行できません。エンジンが作動している状態でのキーの誤操作はセルモーターの再飛び込みなど車両を傷める危険があるばかりでなく、思わぬエンジンの停止や、ハンドルロック未解除のままの発進など、車両の安全装置が働かないままで動き出すなどの事態をまねく危険性があります。

車両のボディカバーをかけたまま使用しないでください。発火や排気ガスによる中毒の恐れがあります。

換気の悪い車庫や屋内では、使用しないでください。排気ガスによる中毒の恐れがあります。

マフラーが雪で覆われるような降雪時に使用しないでください。
排気ガスが車内に充満して大変危険です。

暖機運転の直後にエンジン点検などを行わないでください。火傷をする恐れがあります。エンジン停止後、少なくとも5分以上経過した後、十分注意して行ってください。

本機でエンジンを始動した際は、シフトロック解除機能等による通常の運行操作以外でシフト操作をしないでください。
エンジンスターターの安全機能が働かず、思わぬ事故につながる場合があります。

むやみに操作ボタンを押さないでください。リモコンの電波は周辺環境により、思わぬ遠方まで届く場合があります

お子様などを車両に乗せたままでは、絶対に使用しないでください。
室内はキーでエンジンを始動した場合と同じ状態になり、大変危険です。

車両の近くに燃えやすいものがある場所では、使用しないでください。発火の恐れがあります。

リモコンの電池は、お子様の手の届く場所に保管しないでください。誤飲の恐れがあります。

車両純正装備のストップランプが白熱球の場合、LEDストップランプへ交換すると、フットブレーキ検出機能が使用できないことがあります。

・一般公道での使用、締め切った場所での使用はおやめください。
・地域により車両の停車中にみだりにエンジンを始動させた場合、条例等により罰則を受ける場合がありますので、ご注意ください。
・本機を取り付けたことによる、車両や車載品の故障、事故等の付随的損害については、一切その責任を負いません。

使用上のご注意

・自然災害や火災、その他の事故、お客様の故意または過失、製品の改造等によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
・取扱説明書に記載の使用方法およびその他の遵守すべき事項が守られないことで生じた損害に関し、当社は一切の責任を負いません。
・本機の仕様および外観、アイコン、表示名、表示の内容は、実際と異なったり、改良のため予告なしに変更する場合があります。

■ 電波法に関する注意

・リモコン裏側やジャンクションユニットの技術基準適合証明ラベルをはがさないでください。はがして使用すると、電波法により罰せられることがあります。
・海外では使用しないでください。
・分解したり改造したりすることは、電波法で禁止されています。改造して使用した場合は、電波法により罰せられることがあります。

■ 本機の機能に関する注意

・オートライトコントロールシステムやコンライトシステム搭載車※の一部では、本機のコンライトキャンセル機能が使用できない場合があります。その場合、夜間に本機を使用するときは、ライトスイッチを「OFF」にしておいてください。「AUTO」の状態で本機によりエンジン始動した場合、ライトが点灯して、エンジンが停止したあとも消灯しません。
※暗くなると、自動的にライトが点灯するシステムです。エンジンが停止したあと、降車のためにドアを開閉することでライトが消灯します。
・他の無線機やテレビ、ラジオ、パソコンなどの近くで使用すると、影響を与えたり、通信範囲が狭くなることがあります。
・オプション対応のドアロック（施錠）／アンロック（解錠）機能は、ラジオの送信所やテレビ塔、NTT のアンテナタワーなどの強電界となる付近では、通信範囲が狭くなったり、ドアロック・アンロックができない場合があります。また、電池が完全に消耗してしまうとリモコン操作ができなくなりますので、車両のキーは必ず携帯してください。キーでエンジンをかけているときは、リモコンからの操作は無効となります。また、本機は特定小電力無線を使用しているため、純正キーレスに比べてリモコン操作からロック /アンロックまでに時間がかかると感じる場合があります。
※ 車両から離れるときは、ドアのロックを確認してください。

■ ご使用にあたっての注意

・車両から降りる際にワイパーなどの電源を OFF にしてください。ワイパーの凍結などで過大な負荷がかかると、車種別専用ハーネスのヒューズが切れたり、車両を故障させることがあります。
・リモコンを持ち歩くときには、落下などの衝撃を与えないでください。
・リモコンは簡易防滴構造ですが、水につけたり、雨水などで濡れたりしないようにしてください。
・リモコンは、お子様の手の届かない場所に保管してください。
・リモコンを次のような場所に放置しないでください。
　- 暖房器具の近くやダッシュボードの上など、温度の高くなる場所。
　- 湿度の高い場所や、風通しの悪い場所。
　- ホコリや油煙の多い場所。
　- 非常に温度の低い場所。
・リモコンから通信を行うのと同時にジャンクションユニットからも通信が行われた場合、正常に通信できないことがあります。
・リモコン操作時、周囲に同じ周波数帯の電波が存在する場合、正常に通信できない場合があります。
・リモコンが汚れたときは、柔らかい布でふいてください。ポリエステルなど静電気の起きやすいもの、またベンジンやシンナー、化学ぞうきん、洗剤は使用しないでください。
・ワイヤレスドアロックシステムやキーレスエントリーシステム装備車では、アイドリング中にドアのロック / アンロックができないことがあります。このようなときは、キーで操作してください。
・オートクルーズシステム搭載車や電動チルトステアリング・ドライビングポジションシステム装備車では、まれにこれらの機能が正常に動作しなくなることがあります。
・助手席にチャイルドシートを装着しているなどシートベルトが差し込まれた状態では、アイドリング中に本機のリモコンでドアのロック / アンロックができないことがあります。

本書をお読みいただくにあたって

● **本書は、本機をすぐにご使用いただくための基本的な手順と、ご使用にともなって設定変更したい場合の手順を分けて記載しています。**

※ 説明のために差し支えない部分において、該当以外の機種のイラストを使用している場合があります。

※ 本書で使用している画像は、実際の画面とは見えかたが異なる場合があります。

別売品のご案内

つづく

別売品との併用で、本機の機能がさらにアップします。

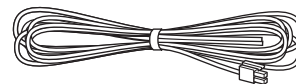
ご注意

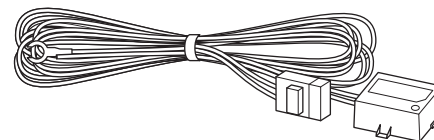
別売品については、予告なく仕様を変更したり、販売を終了する場合があります。あらかじめご了承ください。

キーレスエントリー（A-17SF）

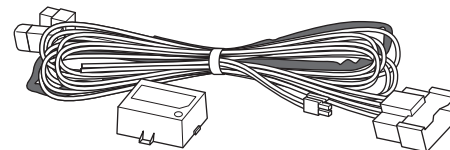
離れた場所から、本機リモコンでドアロック/アンロックができます。

※ 適応車種限定…詳しくは、車種別専用ハーネス適応表をご参照ください。

※ 他の別売品のアダプターやドアロックハーネスが必要となる場合があります。

ハザード制御（A-18SF）

本機でのエンジン始動時、ハザードランプを3回点滅させてエンジンがかかったことをお知らせします。また、本機でのドアロック/アンロック時に、ハザードランプを点滅（1回/2回）させることができます。

ドアミラーコントローラ（A-35SF）

本機リモコンのドアロック・アンロック操作でドアミラーの開閉ができます。

※ 適応車種限定…詳しくは、車種別専用ハーネス適応表をご参照ください。

別売品のご案内

イモビ対応アダプター

イモビ対応アダプターを接続すれば、本機のリモコンでエンジンを始動するときだけ、イモビライザーを解除します。車両イモビライザー機能を損なうことがありませんので、安心してご使用いただけます。

※ 適応車種限定…詳しくは、車種別専用ハーネス適応表をご参照ください。

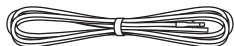
コンライトキャンセル(A-60)

オートライト機能搭載車でオートライト設定中でも、アイドリング終了後にライトを消灯させ、バッテリー上がりを防ぐことができます。

※ 一部の車両では、コンライトキャンセル機能が正常に機能しない場合があります。

ドア検出(A-60)

本機が動作中にドアを開けると、エンジンを停止させることができます。

※ ドア検出機能は、本機によるアフターアイドリング中は機能しません。

安全機能について

本機には、次の安全機能があります。

■ P・ポジション検出

シフトレバーがパーキング(P)またはニュートラル(N)ポジション以外のときは、本機によるエンジンの始動やターボタイマー機能は動作しません。また、リモコンによる始動後、キーを差し込んだだけの状態（ON ポジションまで回さない状態）でシフトチェンジすると、エンジンが停止します。

※ 一部の車両では、P・ポジション検出ができないものや、できにくいものがあります。このような場合には、フットブレーキまたはP・ポジションインジケータランプへの接続が必要です。接続しないと、本機は動作しません。
フットブレーキに接続した場合は、フットブレーキを踏むとエンジンが停止します。またP・ポジションインジケータランプに接続した場合には、シフトレバーがパーキング（P）の位置以外ではエンジンを始動できません。

■コンライトキャンセル機能

（別売品：A-60 を使用して、車両に取り付けてください。）

■ドア検出

（別売品：A-60 を使用して、車両に取り付けてください。）

■誤動作防止 ID コード

1 億通りの中から商品ごとに個別 ID コードを設定。他の電波による誤動作を防止します。

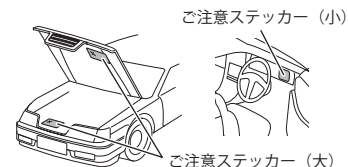
■エンジン自動停止機能

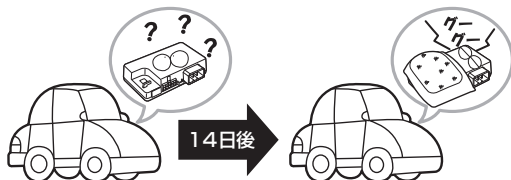
本機でエンジン始動後、設定した時間を経過するとエンジンが自動停止します。

■ダブルアクション操作

2 つのボタンの組み合わせによるツータッチ操作だから、ポケットやバックの中での誤操作を防ぎます。

⚠警告

- 整備や車検などで、エンジン部を作業中に、突然エンジンが始動すると大変危険です。万一の事故を防ぐためにも、第三者に車両を預けるときは、リモコンの電池を抜いてください。
- 本機の取り付け後、安全のため、同梱品のステッカーを貼り付ける必要があります。「ご注意ステッカー（大）」は、エンジンルームを開けたときに、第三者にもわかるような目立つ場所に、「ご注意ステッカー（小）」はボンネットオープナーやその付近の目立つ場所に貼り付けられていることを確認してください。

スリープ機能について

車両を使用しない状態が 14 日間以上続くと、バッテリーの消耗を抑えるスリープ機能がはたらきます。スリープ機能がはたらくと、本機によるエンジン始動はできません。スリープ機能を解除するときは、一度、車両本来の操作（キー操作など）でエンジンを始動させてください。

本機を長期間使用しないときは、リモコンの電池を抜いておきます。

車両のバッテリーとエンジンスターター始動の関係

車両のバッテリーの性能が低下しているときは、車両のキーで始動させる場合に比べ、本機でのエンジン始動ができにくくなります。
このようなときはバッテリーを充電するか、新しいものと交換してください。

メモ

- 寒冷地などでは始動判定方法選択（ ☛ 38 ページ）を『特殊判定』にしても、再始動を繰り返す場合は、オルタネータ線（白線）の接続が必要です。
- 車両のバッテリー交換を行った場合は、再度 P・ポジション検出（ ☛ 40 ページ）が必要です。

送受信アニメーションについて

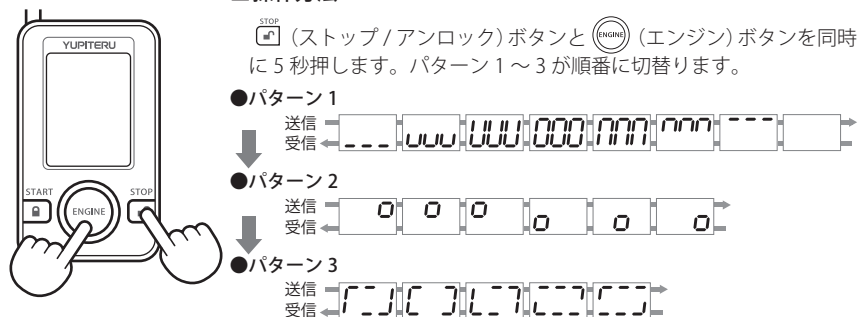
本機リモコン操作時（エンジン始動、エンジン停止、状態確認、アイドリング時間の延長、ドアのロック／アンロック）に表示するアニメーションを変更することができます。

■操作方法

STOP（ストップ / アンロック）ボタンと ENGINE（エンジン）ボタンを同時に 5 秒押します。パターン 1 ～ 3 が順番に切替ります。

●パターン 1
送信
受信

●パターン 2
送信
受信

●パターン 3
送信
受信

※ START（スタート / ロック）ボタンと ENGINE（エンジン）ボタンを同時に 5 秒押すと、パターン 1 ～ 3 の切り替る順番が逆になります。

YUPITERU START STOP ENGINE

ご使用の前に

ターボタイマー機能について

走行後のアフターアイドリングを自動的に行う機能です。
なお、本機はこのターボタイマー機能を使う（ON）使わない（OFF）を設定できます。
アフターアイドリングの時間はオート方式です。

■ ターボタイマー機能の動作について

ターボエンジン搭載車は、走行後、すぐにエンジンを停止させると、タービンのシャフト部の焼き付きを起こす場合があります。ターボタイマー機能は、パーキング（P）またはニュートラル（N）にシフトチェンジされると動作を開始し、キーを抜いたあとも、アフターアイドリングを自動的に行い、エンジンを徐々に冷ましたあと、エンジンを停止させます。

※ ターボタイマー機能は、シフトレバーがパーキング（P）または、ニュートラル（N）の位置でないと動作しません。

※ ただし、P・ポジション検出ができない車両で P・ポジションインジケータランプに接続している場合は、シフトレバーがパーキング（P）の位置のときだけ動作します。シフトポジションを移動したときには動作を停止します。

※ ターボタイマー機能は、動作開始から約 1 秒後に ACC 電源が ON になる仕様となっております。

※ ターボタイマー動作のキッカケとして、キー OFF 時に一度、ACC が OFF になりますが、車両本来の動作とするため、ACC 電源を再度 ON に戻しています。

■ ターボタイマー機能の設定

本書「エンジンスターターの設定」でターボタイマー機能の ON/OFF を設定できます。「ターボタイマーの設定」 ☛ 35 ページ

■ ターボタイマー機能を使用する

ターボタイマー機能を ON に設定し、シフトレバーをパーキング（P）またはニュートラル（N）にすると、自動的にアフターアイドリング動作を開始します。

※ アフターアイドリング中に、リモコンでエンジン停止の操作を行うと、エンジンは停止します。

※ 給油等でアフターアイドリングが必要ないときは、リモコンでエンジンを停止するか、フットブレーキを踏んで、いったんシフトレバーを D または R の位置にすると、エンジンを停止させることができます。

■ オート方式のアフターアイドリング時間

走行時間にあわせて、アフターアイドリングの時間が自動的に変化します。

走行時間	アフター アイドリング時間
0 分間～ 10 分間	約 30 秒間
10 分間～ 30 分間	約 1 分間
30 分間～ 1 時間	約 1 分 30 秒
1 時間～ 2 時間	約 2 分間
2 時間以上	約 3 分間

※ 走行時間は、シフトレバーがパーキング（P）またはニュートラル（N）以外の位置に移動している時間をカウントしています。

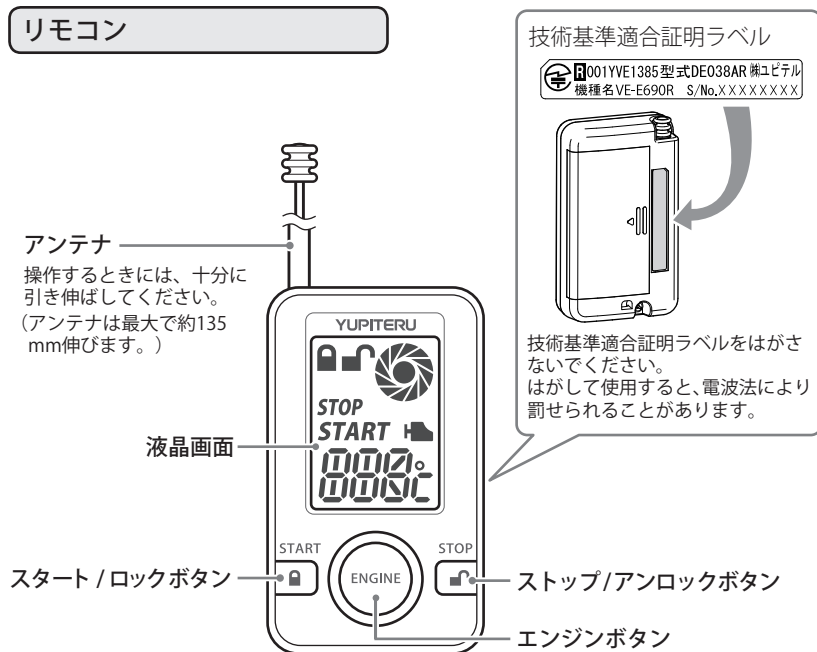
※ ターボタイマー機能のアフターアイドリング時間は、パーキングポジション（P）検出から開始します。

⚠注意

ご使用になる車種により、まれに正常にはたらかないことがあります。このようなときは、ターボタイマーの設定を解除してご使用ください。

※ カーラジオの ON/OFF に連動して、アンテナが昇降する車両では、ターボタイマーがはたらいてエンジンが停止しても、アンテナが降りないことがあります。

ご使用の前に

各部の名称と働き

リモコン

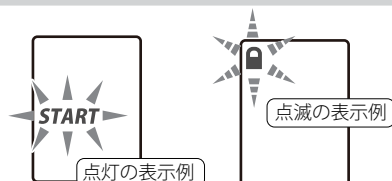
● リモコンの表示について

リモコンのエンジン・スタート・ストップボタンのいずれかを押すと、液晶画面が約 3 秒間点灯（点滅）します。
また、電波を受信した場合は、動作に応じた液晶画面が約 3 秒間点灯（点滅）してお知らせします。

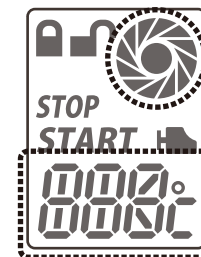
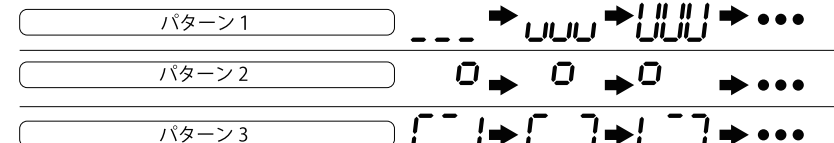
ポイント

- 液晶画面は点灯（点滅）後、バッテリーセーブのため消灯します。
- 気温が 0℃以下になると液晶表示が薄くなったり、表示されないことがありますが、エンジンの始動・停止等のリモコン操作には問題ありません。

「点灯」・「点滅」の表示について

本書では「点灯」・「点滅」を次のように表示しています。

● アニメーション表示ついて

リモコンの液晶画面には本機によるエンジンの始動や停止およびリモコンから電波が送信される様子を表すアニメーションが表示されます。

※ 液晶画面のイラストは、説明のためのものです。実際の画面とは異なります。

※これらのアニメーションは、リモコンからジャンクションユニットへの通信イメージです。実際の通信状況やエンジン回転数を表すものではありません。

※お好みでパターン 1 〜 3 の中から表示させるアニメーションを変更できます。（☛12 ページ）

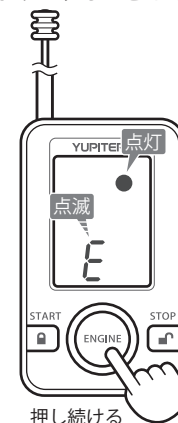
サイレント操作について

リモコンを操作する時に、最初の操作を変更すると一時的にリモコンからの音を鳴らなくすることができます。設定の変更により、常に音を鳴らさないようにすることもできます。（サイレントモード ☛ 36 ページ）

リモコンを操作するときに、“ENGINE”（エンジン）ボタンを羽ピクトの中心点“●”が点灯するまで押し続ける（約 3 秒間）と、一時的に、リモコンから音を鳴らすことなく、リモコン操作が行えます。

※最初のエンジンボタンを押す時に一度だけ『ピッ』と鳴ります。

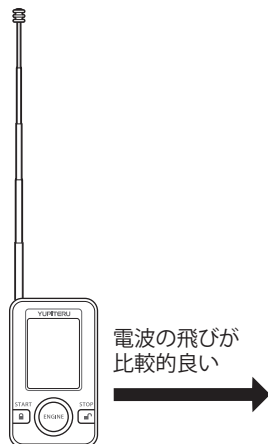
サイレント操作

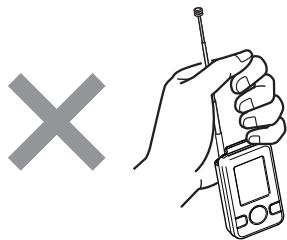
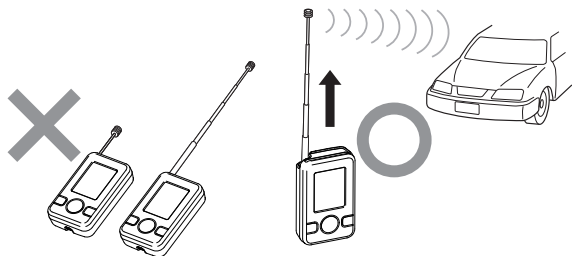
点灯
点滅
押し続ける

リモコンの上手な使いかた

リモコンを操作するときは、安定した通信距離を確保するために、次のことを守ってください。

■ **通信が正常にできない場合、エラー音『ピー』が鳴り、"ER" が点滅します。このような場合は、**以下のことをお試しください。改善される場合があります。

※ 車両とリモコンの間に障害物がなくなるような方向に車両を駐車してください。
障害物により電波が遮断されることがあります。

※ リモコンの右側面を車両に向けて操作してください。
通信距離が伸びることがあります。

■ **リモコンのアンテナを手で覆わないでください。**

※ 電波が飛びにくくなります。

■ **リモコンのアンテナは完全に引き出し、垂直に立てて操作してください。**

■ **同梱のシリコンジャケットをかぶせると、リモコンを傷や汚れから守ります。**

※ シリコンジャケットの開口部から液晶画面が見えるようにリモコンを入れてください。シリコンジャケットがやぶれることがありますので、シリコンジャケットを必要以上に伸ばさないでください。

リモコンの電池交換

電池を交換するときは下記の手順で電池を装着してください。
電池交換中は車両周囲の安全を確認のうえ、不意なエンジン始動には十分にご注意ください。

●電池の交換時期について

バックライトが点滅したら、電池寿命です。早めに新しい電池と交換してください。

●電池寿命の目安

約 1 年を目安に新しい電池（CR2025 2 個）と交換してください。（1 日 10 回使用時）

※ 使用する条件によって異なります。

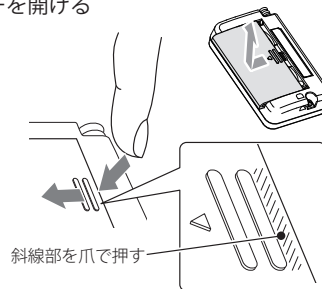
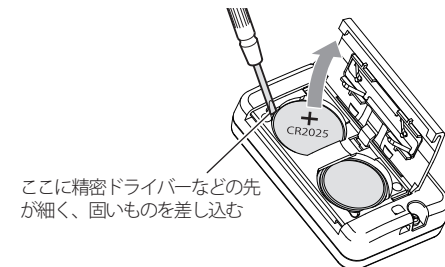
※ 同梱品 (リモコンに装着済み) の電池はモニター用です。モニター用の電池は、記載された電池寿命より短い期間で切れることがあります。

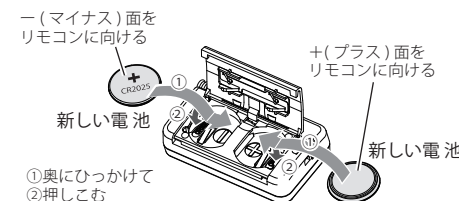
※ 指定の電池（CR2025）以外は使用しないでください。

⚠警告

使用済みの電池は、火中に投げ入れないでください。爆発して、火災・火傷の原因となることがあります。

また、事故防止のため、リモコンの電池は幼児の手の届かないところに保管してください。万一お子様が飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

1 電池カバーを開ける

2 ボールペンなどで電池を取り出す

※ 電池を取り出しても、リモコンの設定内容は消去されません。

3 電池（CR2025）を、図のように入れる

※ リモコンを分解したり改造することは、電波法で禁止されています。

4 電池カバーを閉める

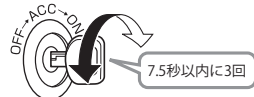
リモコンが紛失／故障したとき

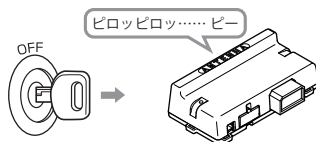
リモコンの紛失や故障などの場合は、新たなリモコンを登録することができます。
※ リモコンは取り寄せ品となるため、お時間を頂戴する場合があります。あらかじめご了承ください。

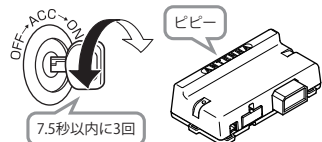
同梱品のリモコンは、登録する必要はございません。そのままご使用いただけます。

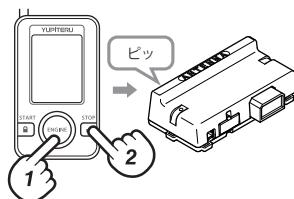
※ リモコンの登録は登録 1、登録 2 のどちらかの方法で行ってください。両方を行う必要はありません。

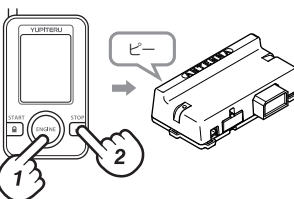
リモコンの登録方法 1

1 キーを差し込んで、OFF→ACC→ON→ACC→OFFを3回切り替える

7.5秒以内に3回切り替えます。

2 OFF の状態で『ピロッピロッ』音が10 秒間鳴り、最後に『ピー』と鳴る

※『ピロッピロッ』音が鳴っている時にキーを操作すると登録がキャンセルされます。

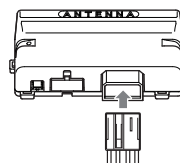
3 『ピー』と鳴ってから 7.5 秒以内に OFF→ACC→ON→ACC→OFF を 3 回切り替える

7.5 秒以内に 3 回切り替えます。
ジャンクションユニットから『ピピー』と鳴ります。
※7.5 秒を超えると登録がキャンセルされます。

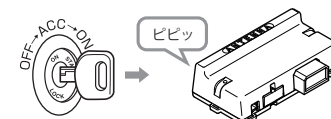
4 『ピピー』と鳴ってから 20 秒以内に、登録を行うリモコンからエンジン停止操作（ENGINE ボタンを押し " E " が点滅中に STOP ボタンを押す）を行う

ジャンクションユニットから『ピッ』と鳴ります。
リモコンからは、エラー音『ピー』が鳴り" ER " を表示します。
※ジャンクションユニットが『ピッ』とならないときは、キーを OFF にして再度 1 の操作からやり直してください。

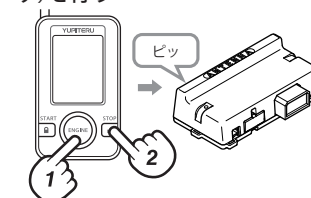
5 20 秒以内に再度エンジン停止操作（ENGINE ボタンを押し" E "が点滅中に STOP ボタンを押す）を行う

ジャンクションユニットから『ピー』と鳴り、登録完了となります。
リモコンからは、エラー音『ピー』が鳴り" ER " を表示します。
※ジャンクションユニットが『ピッ』とならないときは、キーを OFF にして再度 1 の操作からやり直してください。

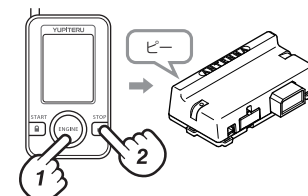
6 キーを抜く

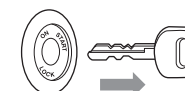
リモコンの登録方法 2

1 ジャンクションユニットからコネクター 1 をはずし、再度接続する

『ピピピッ　ピピピッ　ピピピッ』と確認音が連続して鳴ります。

2 キーを差し込んで OFF →ACC → ONと切り替える

ジャンクションユニットから約3秒後に『ピピッ』と鳴ります。

3 『ピピッ』と鳴ってから 20 秒以内に、登録を行うリモコンからエンジン停止操作（ENGINE ボタンを押し " E " が点滅中に STOP ボタンを押す）を行う

ジャンクションユニットから『ピッ』と鳴ります。
リモコンからは、エラー音『ピー』が鳴り" ER " を表示します。
※ジャンクションユニットから『ピッ』と鳴らないときは、キーをOFFにして再度 **2** の操作からやり直してください。

4 20 秒以内に再度エンジン停止操作（ENGINE ボタンを押し" E "が点滅中に STOP ボタンを押す）を行う

ジャンクションユニットから『ピー』と鳴り、登録完了となります。
リモコンからは、エラー音『ピー』が鳴り" ER " を表示します。
※ジャンクションユニットから『ピー』と鳴らないときは、キーを OFF にして再度 **2** の操作からやり直してください。

5 ON→ ACC→ OFFと切り替え キーを抜く

リモコン登録後、続けて
P･ポジション検出（☛ 40ページ）
を行ってください。

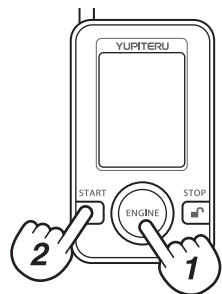
エンジンを始動する

つづく

本機のリモコンでエンジンを始動する方法は、以下のとおりです。

⚠注意

降雪時や寒冷地で車両を駐車するときは…

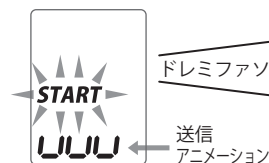
車両を駐車するときはワイパーなどの電源をOFFにしてください。本機でエンジン始動の際、ワイパーの凍結などにより過大な負荷がかかり車種別専用ハーネスのヒューズが切れる恐れがあります。

サイレント操作

リモコンの操作

1 操作確認音『ピッ』が鳴るまで (ENGINE)（エンジン）ボタンを押す

"E" が点滅します。

2 "E" が点滅中(約3秒間)に、『ドレミファソ』が鳴るまで（スタート）ボタンを押す

"START" が点灯し、送信アニメーションが表示され信号を送信します。

ジャンクションユニットが信号を認識すると、リモコンに信号を送り返します。

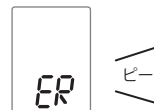
ジャンクションユニットからの信号を受信すると

※ 電波状態によって送受信がすぐに行われる場合があります。その場合、『ドレミファソ』、『ソファミレド』が連続して聞こえることがあります。

受信音『ソファミレド』と鳴ります。

エンジンの始動を行います。

ポイント

本機リモコン操作（エンジンの始動、停止、状態確認、アイドリング時間の延長、ドアのロック / アンロック）をしたときに、ジャンクションユニットからの信号を受信できないと、"ER" が点滅してリモコンからエラー音『ピー』が鳴ります。

このような場合は、場所を変えてもう一度リモコン操作を行ってください。

メモ

車両のバッテリーの性能が低下しているときは、エンジンキーで始動させる場合に比べ、本機でのエンジン始動ができにくくなります。

エンジンが始動すると

エンジン始動を検出して、始動確認の信号をリモコンに送ります。

別売品 のハザード制御：A-18SF を接続していると、ハザードランプが 3 回点滅して、エンジンの始動をお知らせします。

ジャンクションユニットからの信号を受信すると

受信音『ドレミファソファミレド』と鳴り、現在の車室内温度と、アイドリング設定時間を表示します。

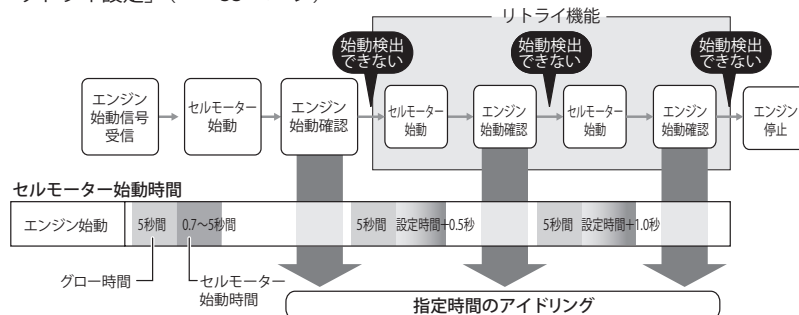
車室内温度表示設定（ ☛ 33 ページ）を OFF にすると、車室内温度表示の替わりに「OK」を表示します

アイドリング中は『ピッピッピッ』とジャンクションユニットから連続して音が鳴り、本機動作によりアイドリングしていることをお知らせします。

● **エンジンが始動できないと、リトライ機能が働きます。(「リトライ機能」 ☛ 22 ページ)**

エンジンを始動する

リトライ機能とセルモーター始動時間について

エンジンが始動できなかったときに、再始動 (リトライ) を 2 回行います。
「リトライ設定」(☛ 33 ページ)

※ オルタネータ線を接続した場合、エンジンの始動を検出すると、セルモーターを停止します。

※ 車種や電装品によっては、エンジンの始動確認ができず、再始動（リトライ）を繰り返す場合があります。このような場合は、始動判定方法選択を『特殊判定』に変更してください。（「始動判定方法選択」 ☛ 37 ページ）

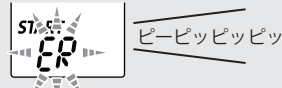
※ 始動判定方法選択を『特殊判定』に変更しても再始動を繰り返す場合は、オルタネータ線（白線）の接続が必要です。

※ 安全機能によりエンジン始動を停止した場合は、再始動（リトライ）は行いません。

メモ

安全機能とは…シフトレバーがパーキング（P）またはニュートラル（N）ポジションになっていて、エンジンスターターによるエンジン始動が可能な状態であるかを確認する機能です。（「P・ポジション検出」 ☛ 40 ページ）

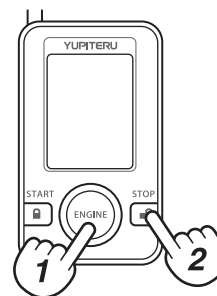
リトライ動作を行うと
受信音『ピーピーピー』が鳴り、“RT”が点滅し、リトライ動作をお知らせします。

2 回目のリトライ動作でもエンジンが始動しなかった場合
受信音『ピーピッピッピッ』が鳴り、“ER”が点滅し、リトライ動作を中止します。

リトライの設定を OFF にした場合も、この表示になります。

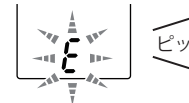
⚠警告

車両の周囲の安全を十分に確認できる範囲で使用してください。また、むやみに操作ボタンを押さないでください。

エンジンを停止する

本機でエンジンを始動させた場合、もしくは本機によるアフターアイドリング中は、本機のリモコンでエンジンを停止させることができます。

サイレント操作

リモコンの操作

1 操作確認音『ピッ』が鳴るまで (ENGINE)（エンジン）ボタンを押す
“E”が点滅します。

2 “E”が点滅中(約 3 秒間)に､『ドレミファソ』が鳴るまで (STOP)（ストップ）ボタンを押す
“***STOP***”が点灯し、送信アニメーションが表示され信号を送信します。

ジャンクションユニットが信号を認識すると、リモコンに信号を送り返します。

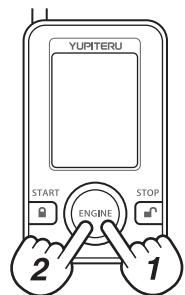
ご注意
エンジンキーでエンジンを始動した場合、リモコンでエンジンを停止することはできません。

ジャンクションユニットからの信号を受信すると

受信音『ソミレドレ』が鳴り、“oK”が点灯し、エンジン停止アニメーションが表示され、エンジンが停止したことをお知らせします。

エンジンの状態を確認する

エンジンの始動／停止状態の確認ができます。

ご注意
エンジンキーでエンジンを始動した場合は確認できません。

サイレント操作

メモ
エンジンが始動できなかった場合、右記の操作（エンジンボタンの 2 度押し）で始動エラー音を確認することもできます。（「始動エラー音について」 ☛ 44 ページ）

ジャンクションユニットからの信号を受信すると

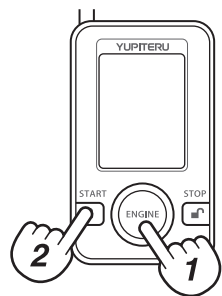
■ **エンジンが始動中は**
受信音『ドレミファソファミレド』が鳴り、現在の車室内温度の表示と、エンジン始動アニメーションを表示します。

■ **エンジンが停止中は**
受信音『ソミレドレ』が鳴り、現在の車室内温度の表示と、エンジン停止アニメーションを表示します。

メモ
車室内温度表示設定（ ☛ 33 ページ）を OFF にすると、車室内温度表示の替わりに「Ido」や「OFF」を表示します。

「Ido」…エンジン始動中
「oFF」…エンジン停止中

アイドリング時間を延長する

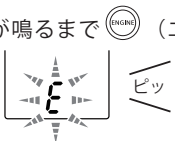
本機によるアイドリング中に、アイドリング設定時間に対して一度だけ 10 分間のアイドリング延長ができます。

サイレント操作

ご注意

次のような場合は、アイドリング時間を延長することができません。

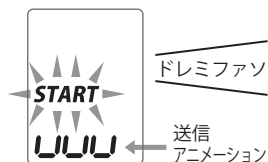
- アイドリング時間設定を 30 分にしている場合
- アイドリング時間延長操作をすでに 1 度行っている場合

リモコンの操作

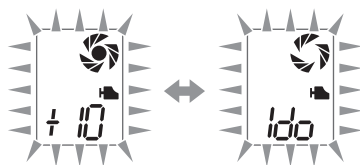
1 操作確認音『ピッ』が鳴るまで （エンジン）ボタンを押す

“E” が点滅します。

ピッ

2 “E” が点滅中（約 3 秒間）に、『ドレミファソ』が鳴るまで （スタート）ボタンを押す

“**START**” が点灯し、送信アニメーションが表示され信号を送信したあと、受信待ちの表示になります。

ジャンクションユニットが信号を認識すると、リモコンに信号を送ります。

ジャンクションユニットからの信号を受信すると

受信音『ドレミファソファミレド』が鳴り、“Ido” と “+10” の交互の点灯で、アイドリング時間の延長をお知らせします。

車両に乗るときは

安全のため、いったんエンジンを停止させたあと、必ず車両本来の操作（キー操作など）でエンジンを始動してください。

走行する際

1 リモコン操作でエンジンを停止させる

（エンジン停止操作は ☛ 23 ページを参照）

2 車両本来の操作（キー操作など）で、エンジンを始動させる

走行できます。

ドアのロック／アンロック操作

つづく

本機のリモコンでドアのロックやアンロックができます。

ご注意

別売品 のキーレスエントリー：A-17SF 等の接続が必要です。

※ 車両によっては、別売品のドアロックアダプターやドアロックハーネス等が必要な場合があります。

ドアロック

⚠注意

- 車両のバッテリー上がり、本機リモコンの電池切れまたは故障などの場合、リモコンでドアを開けることができなくなります。車両のキーは必ず携帯してください。
- 半ドア状態でドアロック操作をした場合は、ドアを完全にロックできない場合があります。

ご注意

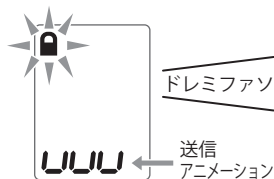
車両のエンジンキーでアイドリングを行っているときは、本機リモコンでドアのロックやアンロックはできません。

リモコンの操作

1 操作確認音『ピッ』が鳴るまで START🔒（ロック）ボタンを押す

”🔒” が点滅します。

2 ”🔒” が点滅中（約 3 秒間）に、『ドレミファソ』が鳴るまで、もう一度 START🔒（ロック）ボタンを押す

”🔒” が点灯し、送信アニメーションが表示され信号を送信します。

ジャンクションユニットが信号を認識すると、ドアをロックしてリモコンに信号を送り返します。
ハザード制御：A-18SF を接続していると、ハザードランプが 1 回点滅します。

メモ

別売品 のハザード制御：A-18SF を接続していると、ハザードランプが 1 回点滅します。

ジャンクションユニットからの信号を受信すると

受信音『ソファミレド』が鳴り、“🔒” と “OK” の点灯で、ドアのロック（施錠）をお知らせします。

基本的な使いかた

アンロック

⚠注意

- 車両のバッテリー上がり、本機のリモコン電池切れ、または故障などの場合、リモコンでドアを開けることができなくなります。車両のキーは必ず携帯してください。
- 本機のリモコンは、ダブルアクション操作により誤動作を防止していますが、純正キーレスエントリーシステムに比べ電波到達距離が長いので、リモコン操作には十分に注意してください。
- 本機は、オートリロック機能※を搭載しておりませんので、リモコンでドアアンロック後、乗車しない場合は、ドアのロック状態を確認してください。

※ドアアンロック後、ドアを開けない場合、自動的にドアロック（リロック）する機能

ご注意

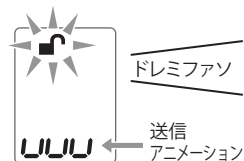
車両のエンジンキーでアイドリングを行っているときは、本機リモコンでドアのロックやアンロックはできません。

リモコンの操作

1 操作確認音『ピッ』が鳴るまで（アンロック）ボタンを押す

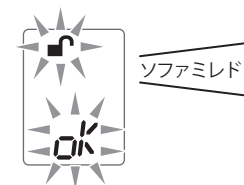
" " が点滅します。

2 " " が点滅中（約 3 秒間）に、『ドレミファソ』が鳴るまで、もう一度（アンロック）ボタンを押す

" " が点灯し、送信アニメーションが表示され信号を送信したあと、受信待ちの表示になります。

ジャンクションユニットが信号を認識すると、ドアをアンロックしてリモコンに信号を送り返します。

メモ

別売品 のハザード制御：A-18SF を接続していると、ハザードランプが 2 回点滅します。

受信音『ソファミレド』が鳴り、" " と " " の点灯で、ドアのアンロック（解錠）をお知らせします。

エンジンスターターの設定

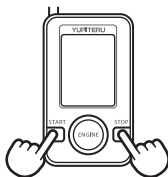
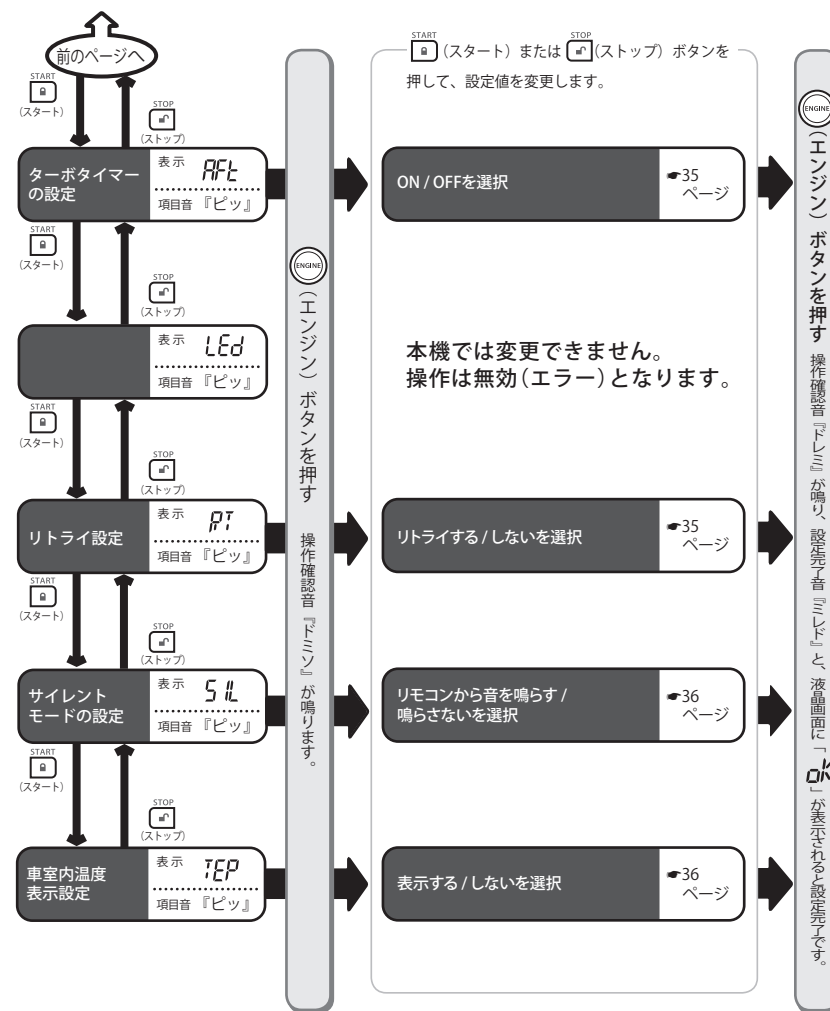
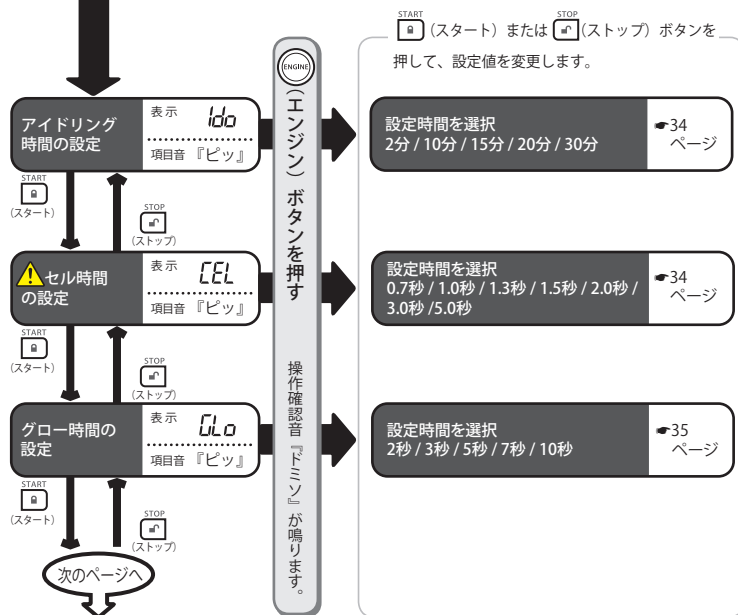
本機は車両や季節、気候にあわせて、最適にご使用いただくために、各種設定を設けてあります。

設定項目一覧

⚠注意

⚠マークがついた項目を設定するには専門知識が必要ですので、不用意に設定を変更なさらないようお願いいたします。誤った設定は本機でエンジンが始動できなくなるだけでなく、セルモーター焼損など車両の走行に支障をきたす場合がございます。設定変更が必要な場合は、本機取り付け店にご相談ください。

ご注意

設定モード中は20秒以上ボタン操作がないと、リモコンからブザー音『ピーピーピー』が鳴り、変更した内容を記憶せず、設定モードを終了します。

各設定項目の説明

設定時の操作方法は、☛34 ページを参照してください。

⚠注意

⚠マークがついた項目を設定するには専門知識が必要ですので、不用意に設定を変更なさらないようお願いいたします。誤った設定は本機でエンジンが始動できなくなるだけでなく、セルモーター焼損など車両の走行に支障をきたす場合がございます。設定変更が必要な場合は、本機取り付け店にご相談ください。

アイドリング時間の設定 Ido

本機で始動した場合のアイドリング時間を 2/10/15/20/30 分の 5 段階から選択できます。

：初期設定

START（スタート）

設定時間	音／表示
2分	『ビッ』／d 2
10分	『ビビッ』／d 10
15分	『ビビビッ』／d 15
20分	『ビビビビッ』／d20
30分	『ビー』／d30

STOP（ストップ）

⚠ セル時間の設定

車両にあったセル時間を、0.7/1.0/1.3/1.5/2.0/3.0/5.0 秒の 7 段階から選択できます。セルモーターの引きずりがある場合にはセル時間を短めに、エンジンが始動しにくい場合には長めに設定してください。設定には十分ご注意ください。

：初期設定

ポイント

オルタネータ線（白線）を接続している場合は、セル時間内にエンジンの始動検出ができると、セルモーターを停止します。

メモ

一部のプッシュスタート車は変更できません。セル時間の設定で設定変更操作をしてもエラー表示となり操作を受け付けません。

START（スタート）

設定時間	音／表示
0.7秒	『ビッ』／C7
1.0秒	『ビビッ』／C10
1.3秒	『ビビビッ』／C13
1.5秒	『ビビビビッ』／C15
2.0秒	『ビー』／C20
3.0秒	『ビービッ』／C30
5.0秒	『ビービビッ』／C50

STOP（ストップ）

グロー時間の設定

リモコンからの電波を受信後、セルモーターを回すまでの時間を 2.0/3.0/5.0/7.0/10.0 秒の 5 段階から選択できます。一部のディーゼル車などで、5 秒以上のグロー時間を必要とする場合は設定してください。ホンダ車や上記のような一部のディーゼル車を除き、リモコン始動などで問題がない場合は、設定を変更しないでください。

ご注意

グロー時間を 7.0 秒、10.0 秒を選択した場合は、オルタネータ線の接続が必要です。

メモ

一部のプッシュスタート車は変更できません。グロー時間の設定で設定変更操作をしてもエラー表示となり操作を受け付けません。

：初期設定

START（スタート）

設定時間	音／表示
2.0 秒	『ビッ』／G 2
3.0 秒	『ビビッ』／G 3
5.0 秒	『ビビビッ』／G 5
7.0 秒	『ビビビビッ』／G 7
10.0 秒	『ビー』／G 10

STOP（ストップ）

ターボタイマーの設定

ターボタイマー機能の ON/OFF が設定できます。

ご注意

アフターアイドリング時間を手動で設定することはできません。

メモ

一部のプッシュスタート車は変更できません。ターボタイマー機能の ON/OFF 設定で設定変更操作をしてもエラー表示となり操作を受け付けません。

：初期設定

START（スタート）

設定値	音／表示
ON	『ビッ』／ON
OFF	『ビビッ』／OFF

STOP（ストップ）

リトライ設定 RT

1 回でエンジン始動できなかったときに、再始動（リトライ）を自動的に 2 回まで行います。

メモ

一部のプッシュスタート車は「リトライしない」に固定されるため、変更できません。リトライ設定で設定変更操作をしてもエラー表示となり操作を受け付けません。

：初期設定

START（スタート）

設定値	音／表示
リトライする	『ビッ』／ON
リトライしない	『ビビッ』／OFF

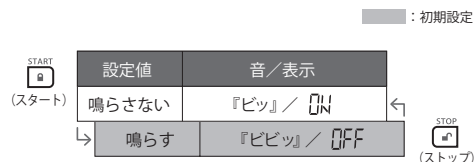
STOP（ストップ）

サイレントモードの設定　5 IL

リモコンからのすべての音を「鳴らす / 鳴らさない」から選択できます。鳴らさない設定にすると、液晶画面のみでお知らせします。

■：初期設定

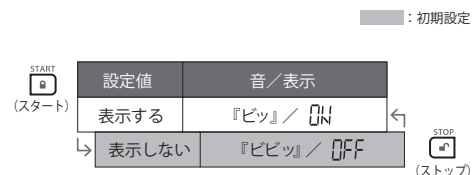
設定値	音／表示
鳴らさない	『ピッ』／ ON
鳴らす	『ピピッ』／ OFF

START（スタート）　STOP（ストップ）

車室内温度表示設定

リモコンに表示される車室内温度の ON/OFF が設定できます。

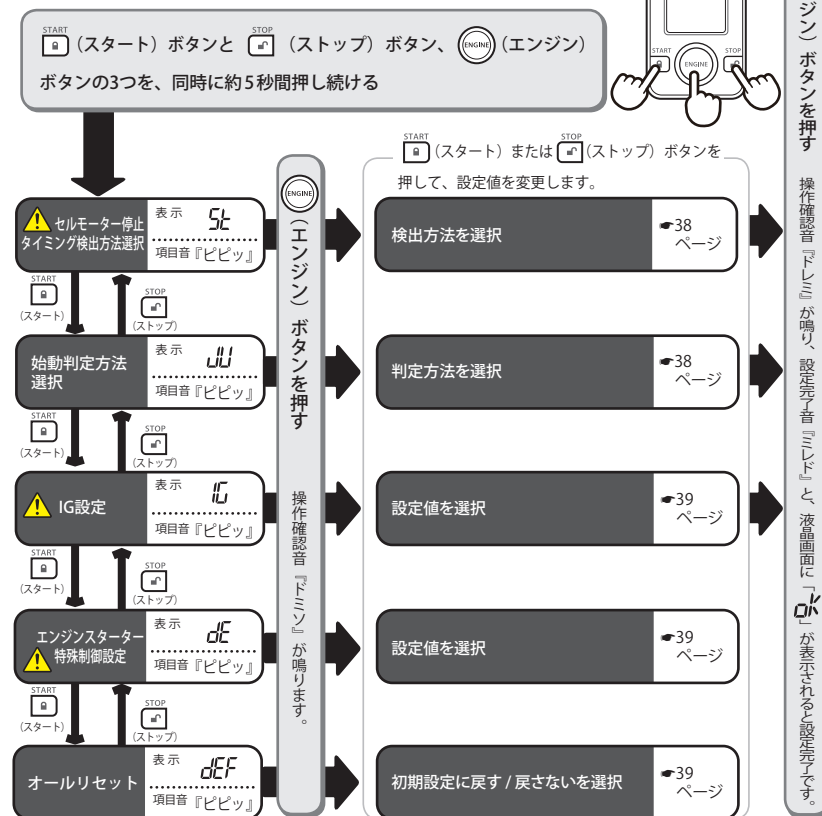
■：初期設定

設定値	音／表示
表示する	『ピッ』／ ON
表示しない	『ピピッ』／ OFF

START（スタート）　STOP（ストップ）

本機は一部の特殊な車両でご使用いただくために、各種設定機能を設けてあります。

設定項目一覧

⚠注意

⚠マークがついた項目を設定するには専門知識が必要ですので、不用意に設定を変更なさらないようお願いいたします。誤った設定は本機でエンジンが始動できなくなるだけでなく、セルモーター焼損など車両の走行に支障をきたす場合がございます。設定変更が必要な場合は、本機取り付け店にご相談ください。

各設定項目の説明

設定時の操作方法は、☛39 ページを参照してください。

⚠注意

⚠マークがついた項目を設定するには専門知識が必要ですので、不用意に設定を変更なさらないようお願いいたします。誤った設定は本機でエンジンが始動できなくなるだけでなく、セルモーター焼損など車両の走行に支障をきたす場合がございます。設定変更が必要な場合は、本機取り付け店にご相談ください。

⚠ セルモーター停止タイミング検出方法選択 St

セルモーター停止タイミングの検出方法を選択できます。セル時間を設定してもセルモーターの引きずりが改善されない場合に、設定を「電圧検出」に変更してご使用ください。セルモーターの引きずりがない場合は、設定変更しないでください。

メモ

一部のプッシュスタート車は変更できません。セルモーター停止タイミング検出方法選択の設定変更操作をしてもエラー表示となり操作を受け付けません。

：初期設定

設定値	音／表示
電圧検出	『ブッ』／ U
オルタネータ検出	『ブブッ』／ L
検出しない	『ブブブッ』／ 0

ポイント

初期設定（「オルタネータ検出」を選択）をしている場合で、オルタネータ線が接続されていないときは、セル時間（「セル時間の設定」 ☛ 32 ページ）で、セルモーターを停止します。

ご注意

一部の車両ではセルモーター停止タイミング検出を「電圧検出」に設定しても、セルモーターの引きずりを改善できない場合があります。このような場合は設定を「オルタネータ検出」に戻して、オルタネータ配線を行ってください。

始動判定方法選択 JU

本機でエンジン始動後、エンジン始動判定方法を選択できます。
エンジンが正常に始動したにもかかわらず、約 1 分程度で停止してしまう場合に、設定を「J0（特殊判定）」に変更してご使用ください。

ご注意

特殊判定を選択した場合、エンジン始動に失敗しても、アイドリング設定時間の間、車両の電源が ON となることがあります。

：初期設定

設定値	音／表示
通常	『ブッ』／ J1
特殊判定	『ブブッ』／J0

⚠ IG 設定

一部の車両において、初期設定の状態で使用すると、本機によるエンジン始動ができない場合があります。車種別専用ハーネス適応表にて指定のある車両のみ、設定値を変更してください。上記以外の車両では設定を変更しないでください。

メモ

一部のプッシュスタート車は変更できません。IG 設定で設定変更操作をしてもエラー表示となり操作を受け付けません。

：初期設定

設定値	音／表示
IG1	『ブッ』／ IG1
IG2	『ブブッ』／ IG2
IG1＋IG2	『ブブブッ』／ IGA

⚠ エンジンスターター特殊制御の設定

一部の車両において、初期設定の状態で使用すると、本機によるエンジン始動ができない場合があります。車種別専用ハーネス適応表にて指定のある車両のみ、設定値を「OFF」に変更してください。上記以外の車両では設定を変更しないでください。

メモ

一部のプッシュスタート車やイモビライザー装備車は、自動的に「OFF」になり、変更できません。特殊制御設定の設定変更操作をしてもエラー表示となり操作を受け付けません。

：初期設定

設定値	音／表示
ON	『ブッ』／ ON
OFF	『ブブッ』／ OFF

オールリセット

エンジンスターターの設定（ ☛ 32 ～ 39 ページ）をすべて初期設定に戻します。

：初期設定

設定値	音／表示
初期設定に戻す	『ブッ』／ CLR
初期設定に戻さない	『ブブッ』／ SET

設定のしかた

車内で『ピピピッ ピピピッ』と鳴っている場合

バッテリー上がりやバッテリー交換、車種別専用ハーネスの取りはずし等で常時電源が断たれた場合は、ジャンクションユニットから『ピピピッ ピピピッ・・・』が鳴り、P・ポジションの設定がリセットされたことを知らせます。

※ P・ポジションがリセットされると、リモコン操作がエラーとなり、本機によるエンジン始動ができません。

※ 本機への常時電源が断たれた場合でも、本機に登録された設定内容は消去されません。

下記の手順で P・ポジションの検出・設定を行ってください。

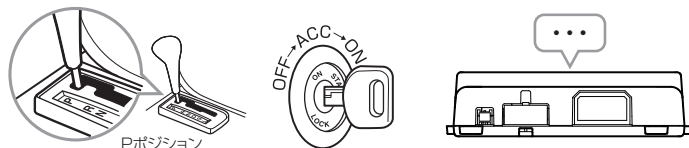
P・ポジション検出の設定手順

『ピピピッ ピピピッ ピピピッ…』音が鳴っている状態で、以下の手順で設定を行ってください。

※ 何も音が鳴っていない場合は、車種別専用ハーネスの取り付け状態やアース線の接続場所を再度確認してください。

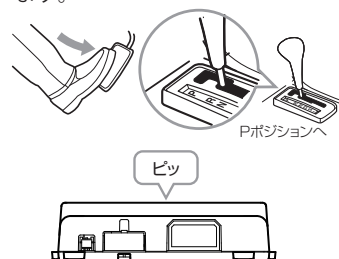
1 シフトレバーがパーキング（P）になっていることを確認し、ブレーキペダルから足を離したまま、エンジンキー（エンジンスイッチ）を OFF → ACC → ON と切り替える

ジャンクションユニットからの『ピピピッ ピピピッ ピピピッ…』音が止まります。

※ ブレーキペダルを踏んだままエンジンキーを ON にすると、正しく設定できないことがあります。

2 ブレーキペダルを踏み込み、確認音『ピッ』が鳴るか確認する

ブレーキペダルを踏み『ピッ』音が鳴らなかった場合

3 ブレーキペダルを踏んだまま、シフトレバーをパーキング（P）からリバース（R）に切り替える

約 3 秒後に確認音『ピッ』が鳴ります。

4 ブレーキペダルを踏んだまま、シフトレバーをパーキング（P）に戻す

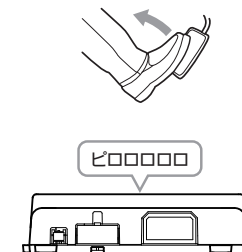
『ピー』音または『ピロロロ…』音が鳴ります。ブレーキペダルから足を離します。

ブレーキペダルを踏み『ピッ』音が鳴った場合

ブレーキ検出線が接続されています。
次のように操作してください。

※ 車両のブレーキランプがもともと白熱球の場合、LED 電球に交換すると、ブレーキペダル操作による P・ポジション検出ができないことがあります。

3 ブレーキペダルから足を離す

確認音『ピロロロ…』が鳴ります。
ブレーキペダルから足を離します。

以上で設定完了です。

エンジンキー（エンジンスイッチ）を OFF に戻し『ピピピッ ピピピッ ピピピッ…』音が鳴らないことを確認してください。

『ピピピッ ピピピッ ピピピッ…』音が鳴りやまない場合、P ポジション検出ができていません。その場合は、接続先をご確認のうえ手順 1 から設定をやり直してください。

故障かな？と思ったら

修理をご依頼になる前に、もう一度次のことをご確認ください。

故障かな？

操作ボタンを押してもリモコンの液晶画面が表示されない

確認事項	参照
●電池が消耗していませんか。新しい電池と交換してください。	☛17
●電池が正しく入っていますか。正しく電池をセットしてください。	☛17

リモコン操作でエンジンが始動または停止できない

確認事項	参照
●スリープ機能が働いていませんか。一度キーでエンジンをかけてください。	☛12
●シフトレバーがパーキング(P)ポジションになっていますか。	—
●車種別専用ハーネスのヒューズが切れていませんか。	—
●エンジンスターターが正しく設定されていますか。	☛32
●P・ポジションが検出できていますか。一部の車両では、P・ポジションが検出できないものや、できにくいものがあります。このような場合には、フットブレーキまたは P・ポジションインジケータランプへの接続が必要です。	—
●車両と離れすぎていませんか。電波の届く範囲内で操作を行ってください。	—
●車両のバッテリーが弱っていませんか。バッテリーを充電するか、新品と交換してください。バッテリーを交換した場合には、P・ポジション検出が必要です。	—
●キー操作でエンジンが始動しますか。始動しない場合は車両の点検をしてください。	—
●キーでエンジンを始動していませんか。キーでエンジンを停止してからリモコン操作でエンジン始動を行ってください。	—
●ジャンクションユニットからエラー音が鳴っていますか。エラー音を確認してください。	☛44

リモコン操作がエラーになる

確認事項	参照
●バッテリー交換しましたか。バッテリー交換後は P・ポジション検出が必要です。	☛40
●車内で『ピピピッ ピピピッ』音が鳴っていませんか。その場合、P・ポジション検出を行ってください。	☛40

リモコン操作できる距離が短い

確認事項	参照
●リモコンのアンテナ部を手で覆っていませんか。アンテナ部に手を触れないで操作してください。	—
●リモコンの電池が消耗していませんか。新しい電池と交換してください。	—
●車両とリモコンの間に障害物がありませんか。障害物のない場所から操作してください。	—

リモコンの操作音が鳴らない

確認事項	参照
●エンジン始動・停止・状態確認操作時に押す ENGINE（エンジン）ボタンを長押ししていませんか。ENGINE（エンジン）ボタンを短く（約 1 秒）押して操作を行ってください。	—
●サイレントモードの設定が「ON」になっていませんか。設定を「OFF」にしてください。	☛33

エンジン始動時と停止時に、車両のブレーキランプが点灯する

確認事項	参照
●プッシュスタート車はエンジンをかけるときにフットブレーキを踏む必要があるため、本機でのエンジン始動ではフットブレーキの配線を電気的に制御しています。このため車両のブレーキが点灯しますが、異常ではありません。	—

ターボタイマーが作動しない

確認事項	参照
●ターボタイマー機能は正しく設定されていますか。初期設定では「OFF」になっています。	☛33

ドアを開けるとエンジンが停止する

確認事項	参照
●一部のプッシュスタート車は、本機でのエンジン始動後にドアを開けると、乗り逃げ防止のためエンジンを停止します。	—

バッテリー交換後、車内で『ピピピッ ピピピッ』音が鳴っている

確認事項	参照
●故障ではありません。バッテリー交換後は P・ポジション検出が必要です。	☛40

始動エラー音について

本機によるエンジンスタートやターボタイマー機能が動作しない場合は、エンジン始動失敗後にジャンクションユニットから鳴る音（エラー音）により、不具合状況を確認できます。
本機の動作に不具合があったときは、この「エラー音」を確認して、取り付け店または弊社ご相談窓口にお問い合わせください。

- エンジン始動失敗後、次にエンジン始動操作を行うまでの間は、リモコンの ENGINE （エンジン）ボタンの 2 度押し（エンジンの状態確認操作）を行うことで、ジャンクションユニットから、もう一度エラー音を鳴らすことができ、不具合状況を確認できます。

エラー音	不具合の検出
ピピピッ ピピピッ ピピピッ	P ポジションの検出ができていません。（☛ 40 ページ）
ピー ピッ	エンジンスターター動作中断時 P・ポジション検出
ピー ピッ ピッ	エンジンスターター動作中断時 ブレーキ検出
ピー ピッ ピッ ピッ ピッ	エンジンスターター動作中断時 ドア検出
ピー ピー	エンジンスターター動作中断時 電圧異常
ピー ピー ピッ	エンジンスターター動作中断時 オルタネータ異常
ピッピッピッ ピッ	キー飛び込み検出
ピー ピーピッ ピッ ピッ	エンスト検出
ピー ピー ピー	エンジン始動異常
ピピピッ	ターボタイマー動作中断時溶着検出

仕様

リモコン

適合技術基準	特定小電力無線局 テレコントロール用無線設備
送受信周波数	400MHz 帯
送信出力	10mW 以下
使用電池	リチウム電池 CR2025 × 2
動作温度範囲	− 10℃〜＋ 50℃
寸法	33（W）× 59（H）× 13（D）mm （突起部含まず）
重量	約 30g（電池含む）

■ジャンクションユニット（アンテナ内蔵）

適合技術基準	特定小電力無線局 テレコントロール用無線設備
送受信周波数	400MHz 帯
電源電圧	12V 車専用（DC9 〜 16V）
送信出力	10mW 以下
消費電流	スリープ時：約 5mA 以下 待機時：約 13mA 以下（平均）
動作温度範囲	− 30℃〜＋ 85℃
寸法	119（W）× 33（H）× 60（D）mm （突起部含まず）
重量	約 116g

取扱説明書は随時更新されます。最新版の取扱説明書は当社ホームページにてご確認ください。

http://www.yupiteru.co.jp/

アフターサービスについて

■リモコンを紛失や破損したとき

リモコンを紛失や破損したときは、新しいリモコンを登録（有償）することができます。
詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。

※リモコンは取り寄せ品となるため、ご来店当日の登録ができない場合があります。
あらかじめご了承ください。

本書に従った、正常な取り付け・接続、使用状態で製品に故障が生じた場合は、製品の保証書に従って修理いたします。
また、本機取り付けによる車両や車載品の故障、事故などの付随的損害の補償については、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

●保証書（裏表紙参照）
保証書は、必ず「販売店・お買い上げ年月日」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。

●保証期間
お買い上げの日から 3 年間です。（リモコンは 1 年、電池等消耗部品を除く）

●対象部分
機器本体（消耗部品は除く）

●修理をご依頼されるとき
「故障かな？と思ったら」（☛ 42 ページ）で確認しても、なお異常があると思われるときは、機種名（品番）、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。

ご転居ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。

○保証期間中のとき
保証書の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで、保証書とともに、機器本体をご持参ください。保証書の内容に従って修理いたします。

○保証期間が過ぎているとき
まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

※ 修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。あらかじめご了承ください。

ユピテルご相談窓口

お問い合わせの際は、使用環境、症状を詳しくご確認のうえ、お問い合わせください。

- 下記窓口の名称、電話番号、受付時間は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
- 電話をおかけになる際は、番号をお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。
- 紛失等による付属品の追加購入や別売品の購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。

故障相談や取扱方法などに関するお問い合わせ

受付時間　9：00 〜 17：00　月曜日〜金曜日（祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く）

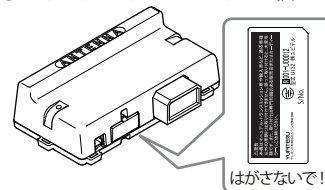
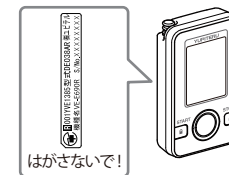
お客様ご相談センター

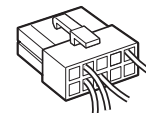
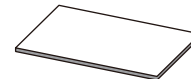
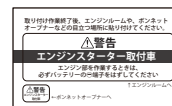
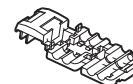
※お客様ご自身での取付作業に対するサポートは行っておりません。

取付・接続編

梱包内容

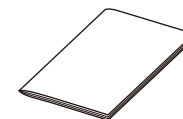
取り付け前に梱包内容をお確かめください。

●ジャンクションユニット　1 個

●リモコン　1 個

●リモコン用電池 CR2025　2 個
※リモコンに装着済

●センサーハーネス　1 個

●保護シート　1 枚

●ご注意ステッカーシート　1 枚

●エレクトロタップ　2 個

●タイラップ　2 個

●温度センサ　1 個

●シリコンジャケット　1 個

●取扱説明書 / 保証書（本書）　1 部

取り付けの前に（安全上のご注意）

⚠警 告

安全のため、取り付けはお買い求めいただいた販売店様やカーディーラー様にご依頼ください。

・本機は、販売店様やカーディーラー様での取り付けを対象としております。
・お客様ご自身での取付作業に対するサポートは行っておりません。
・お客様ご自身で取り付けられた場合の保証は受けられません。

⚠警 告

取り付けできる車両を、お確かめください。

本機を取り付けられる車両は車種別専用ハーネス（別売品）を使用できる車種のみです。
適応する車種別専用ハーネスがわからない場合は、ご相談窓口にお問い合わせください。

■次の 3 つの条件を満たしている車両に取り付けられます。

・車種別専用ハーネスの設定がある車両
・オートマチック車（ATまたはCVT）
・12V車で、⊖アースの車両

⚠警 告

マニュアル（MT）車、外国車には、取り付けできません。

取り付け作業は、必ずエンジンがさめている状態のときに行ってください。
火傷する恐れがあります。

エアバッグ系統の配線およびコネクターには触れないでください。
また、エアバッグの動作の支障となる場所に取り付けたり、配線しないでください。
エアバッグが正常に作動しなかったり、事故やケガの原因となります。

ジャンクションユニットの取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また自動車の機能(ブレーキ、ハンドルなど)の妨げにならない場所に取り付けてください。

ジャンクションユニットは、取り付け・接続後、しっかりと固定してください。
運転中に落下すると大変危険です。

コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しないでください。
故障や火災の原因となります。

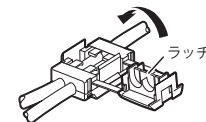
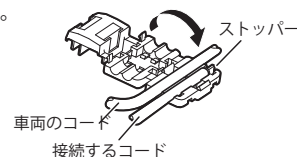
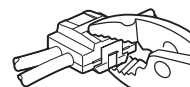
ご注意

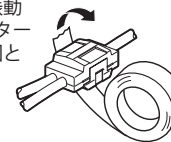
・市販のターボタイマーと併用することはできません。
・オートクルーズシステム搭載車や電動チルトステアリング・ドライビングポジションシステム装備車では、まれにこれらの機能が正常に動作しなくなることがあります。
・ワイヤレスドアロックシステムやキーレスエントリーシステム装備車では、本機によるアイドリング中にドアのロック / アンロックができないことがあります。このようなときは、車両付属のキーで操作してください。
・ターボタイマー機能は、ご使用になる車両により、まれに正常に働かないことがあります。このようなときは、ターボタイマー機能を「OFF」にしてご使用ください。
・イグニッションキースイッチのバラツキが大きく、エンジンスターター使用時にセルが回り続ける車両では使用できません。

エレクトロタップの使いかた

各検出線は、以下の手順で接続してください。

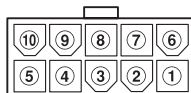
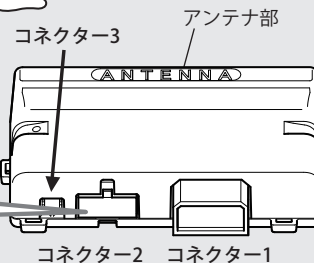
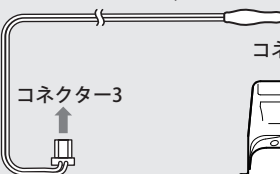
①各検出線を図のストッパーに突きあて、車両のコードを通して矢印のように折り返す。

②もう一度、矢印のように折り返す。

③プライヤーなどで、ラッチが噛むまで締め付ける。

④絶縁テープを巻く。

※接続された箇所（エレクトロタップ部）は、ショートや振動などにより、車両のスターター系にトラブルを起こす原因となることがあります。必ず絶縁テープでテーピングしてください。

基本接続図

コネクター2の接続ポイント

1	(空き)	別売品 ドア検出線(A-60)を接続
2	(空き)	別売品 イモビ対応アダプターの灰/黒線(イモビA)を接続
3	白	オルタネータ線
4	黄	ドアアンロック線
5	(空き)	別売品 コンライト出力線(A-60)を接続
6	茶	ブレーキ検出線
7	(空き)	別売品 イモビ対応アダプターの白/黒線(イモビB)を接続
8	(空き)	別売品 イモビ対応アダプターやオートキーレスシステム等の紫線を接続
9	青	ドアロック線
10	(空き)	別売品 ハザード制御(A-18SF)の緑線を接続

⑩ ⑨ ⑧ ⑦ ⑥
⑤ ④ ③ ② ①

●温度センサ(1m)
コネクター3
コネクター3
アンテナ部
ANTENNA
アンテナ内蔵ジャンクションユニット
コネクター2　コネクター1

センサーハーネス

オルタネータ線　白線

ご注意 弊社車種別専用ハーネス適応表で条件としている車種や、エンジン始動確認ができずエンジン始動後に再始動を繰り返してしまう場合は、車両のオルタネータ(L端子)ケーブルに接続してください。

ブレーキ検出線　茶線

ご注意 Pポジション検出ができない場合や、ブレーキ検出線の接続が使用条件として指定されている場合のみ配線します。詳しくは販売店様向けの弊社車種別専用ハーネス適応表をご参照ください。

改良のため別売品の線色を予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

別売品 キーレスエントリー(A-17SF)
ドアロック線(青線)
車両のドア制御信号線に接続(ロック側)
アンロック線(黄線)
車両のドア制御信号線に接続(アンロック側)

キーレスエントリー接続コネクター

アース線
ボディアースへ接続

別売品

別売品 コンライト出力線(A-60)
車両のコンライト信号線に接続

別売品 ドア検出線(A-60)
車両のドア信号線に接続

別売品 イモビ対応アダプター　白/黒線
灰/黒線

エンジンスターター接続線　紫線
別売品のイモビ対応アダプターやオートキーレスシステムなどを接続

別売品 ハザード制御(A-18SF)　緑線

車両のキーシリンダー側コネクターへ
車両側コネクターへ
車種別専用ハーネス 別売品

つづく

以下に記載された手順や注意事項にしたがって取り付けてください。

ご注意 記載の内容は、標準的な車両での取り付け手順です。ご使用の車種や別売品によっては、記載の手順と異なる場合があります。弊社車種別専用ハーネス適応表にて品番や指定条件をご確認ください。

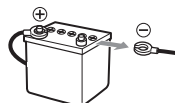
⚠警 告

安全に作業をしていただくため、取り付ける前に次の4つのことを必ず守ってください。

・シフトレバーをP・ポジションにします。

・キーを抜きます。

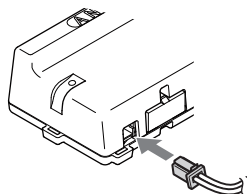
・パーキングブレーキを確実にかけます。

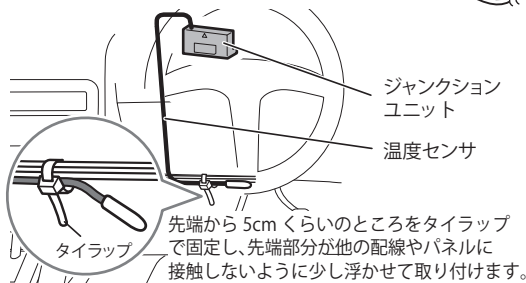
・ショート事故やエアバッグの誤動作防止のため、バッテリーのマイナス端子を外しておきます。

ご注意 ナビゲーションシステムやラジオ、オーディオなどを搭載した車両では、バッテリーのマイナス端子を外すと、メモリーの内容が消えてしまうことがあります。端子を外す前に、必ずメモリー内容を控えてください。

温度センサの接続

温度センサを接続し、本機リモコン操作でエンジン始動操作やエンジンの状態確認操作を行うと、エンジンの始動や状態表示に加えて、車室内温度を液晶画面に表示します。

1 温度センサをジャンクションユニットのコネクター3に接続する

2 温度センサは先端部分が温度感知部になっています。ケーブルは切断せずに配線してください。

ポイント

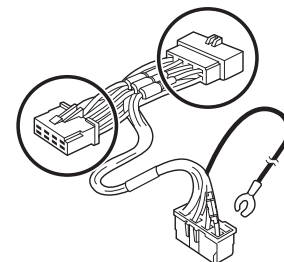
車室内は場所により温度差があります。
なるべく直射日光の当たらない場所に取り付けてください。
また、先端部分（温度感知部）が、ボディや配線に触れない場所、発熱する電子機器やエアコンの送風口から離れた場所に取り付けてください。

1 車種別専用ハーネス(別売品)の接続

本機はマニュアル・トランスミッション（MT）車や輸入車など、適応車種以外の車両には取り付けできません。誤って取り付けると、大変危険です。また、取り付けは専門知識のある販売店またはカーディーラーにご依頼ください。

1 車種別専用ハーネス（別売品）を接続するコネクターを探す

※形状は、専用ハーネスの車両側のコネクター（○印部）を参考にしてください。

2 車両側のコネクターを外し、外したコネクター間を専用ハーネス (別売品) で接続する

3 専用ハーネス(別売品)から出ているアース線を、車両の塗装されていない既存のビスなどにしっかりと共締めする

ご注意

- 走行中の振動などでコネクターが抜けないよう、しっかりと接続してください。
- 配線類は、噛み込みや被覆の摩擦によるショートを防ぐため、ステアリングシャフトやチルト機構、シフトレバー等の稼動部を避け処理を行ってください。
- アース線は、オーディオやナビゲーションなど、他の電装品と同じビスなどに取り付けないでください。機器が誤作動したり、オーディオのメモリーが消失する恐れがあります。
- 車体金属部やネジ、エッジ部分に接触する可能性がある配線は、付属の保護シートで配線の保護を行ってください。

イモビ/プッシュスタート対応アダプターを使用する場合

イモビ対応アダプター等を使用しない場合

2 イモビライザー装備車やプッシュスタート車の場合は、対応するアダプターの接続が必要です

※取り付け・接続に関しては、アダプター付属の説明書をご確認ください。

重要 **ブレーキ検出線について**

あらかじめ取り付ける車種にブレーキ検出線の指定があるか確認してください。

- ブレーキ検出線の接続条件は、車種別専用ハーネス適応表にてご確認ください。
- イモビ対応アダプター取付車の場合は、車両と接続しないことがあります。
  必ずアダプター付属の説明書に従って作業を行ってください。

3 P・ポジション検出

本機は、P・ポジション検出をしないと動作しません。

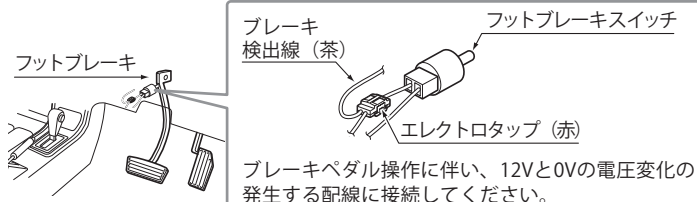
接続が正しく行われていることを確認し、バッテリーのマイナス端子を繋いでください。

重要 **P・ポジション検出の手順は、取り付ける車両により異なります。以下の項目を確認し、該当するP・ポジション検出手順にお進みください。**

※ブレーキ検出線の接続条件は、弊社エンジンスターター車種別専用ハーネス適応表をご確認ください。
※イモビ対応アダプター取付車の場合→ブレーキ検出線の指定条件が異なります。

- ブレーキ検出線の指定がない場合 → **手順A** へ
- ブレーキ検出線の指定があり、ターボタイマー機能を使用する場合
  → ブレーキ検出線をパーキングポジションインジケータ線に接続し、**手順A** へ

- プッシュスタート対応アダプター取付車 → **手順B** へ
- ブレーキ検出線の指定があり、ターボタイマー機能を使用しない場合
  → ブレーキ検出線をフットブレーキ線に接続し、**手順B** へ

ブレーキペダル操作に伴い、12Vと0Vの電圧変化の発生する配線に接続してください。

手順A シフトレバー操作による P・ポジション検出

1 車種別専用ハーネス(別売品)をジャンクションユニットのコネクター1に接続する

ジャンクションユニットから『ピピピッ　ピピピッ　ピピピッ』という確認音が連続して鳴ります。

2 シフトレバーがパーキング（P）・ポジションになっていることを確認し、ブレーキペダルから足を離したままエンジンキー（エンジンスイッチ）を OFF→ACC→ON と切り替える

ジャンクションユニットで鳴っている『ピピピッピピピッ…』音が止まります。

※ブレーキペダルを踏んだままエンジンキーを ON にすると、正しく設定できないことがあります。

3 ブレーキペダルを踏み、シフトレバーをパーキング（P）・ポジションからリバース（R）・ポジションに切り替える

約 3 秒後に『ピッ』音が鳴ります。

4 ブレーキペダルを踏んだまま、シフトレバーをパーキング（P）・ポジションに戻す

『ピー』または『ピロロロ…』音が鳴り、ブレーキペダルから足を離します。

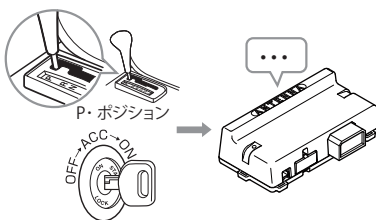
上記手順でP・ポジション検出ができない場合は、ブレーキ検出線をフットブレーキ線に接続し、手順Bの設定を行ってください。

以上で P・ポジション検出は終了です。
「4　オルタネータ線について」へ進んでください。

手順B ブレーキペダル操作による P・ポジション検出

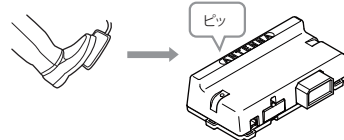
1 車種別専用ハーネス(別売品)をジャンクションユニットのコネクター1に接続し、センサーハーネスをコネクター2に接続する

ジャンクションユニットから『ピピピッ　ピピピッ　ピピピッ』音が鳴ります。

2 シフトレバーがパーキング(P)・ポジションになっていることを確認し、ブレーキペダルから足を離したままエンジンキー（エンジンスイッチ）をOFF→ACC→ONと切り替える

ジャンクションユニットで鳴っている『ピピピッピピピッ…』音が止まります。

※ブレーキペダルを踏んだままエンジンキーをONにすると、正しくできないことがあります。

3 ブレーキペダルを踏み込む

ジャンクションユニットから『ピッ』音が鳴ります。

4 ブレーキペダルから足を離す

ジャンクションユニットから『ピロロロ…』音が鳴り、ブレーキペダルから足を離します。

以上でP・ポジション検出は終了です。
「4　オルタネータ線について」へ進んでください。

4 オルタネータ線について

- 車種別専用ハーネス適応表でオルタネータ線の接続が指定されている車種の場合は、必ずオルタネータ線を接続してください。
- 車種や電装品によっては、始動判定方法選択を「特殊判定」に変更してもエンジンの始動確認ができず、再始動を繰り返すことがあります。このような場合は、オルタネータ線を接続することで、より確実な始動判定を行うことができます。
- グロー時間を7.0秒や10.0秒にする場合は、オルタネータ線を接続してください。

オルタネータ線を接続する場合

オルタネータ線を接続しない場合

オルタネータ線の接続

車種により異なります。販売店様向けの接続情報をご確認ください。

メモ

多くの車種は、キーON時(エンジン始動前)に0~2V、エンジン始動後に約6V以上となる車両配線(L端子)が接続先になります。

※接続後には、接続部を必ず絶縁テープでテーピングしてください。

「5 エンジン始動の確認」に進んで下さい

5 エンジン始動の確認-1

重 要

イモビライザー装備車やプッシュスタート車の場合、アダプター付属の説明書を参照のうえ、IDの登録を行ってください。

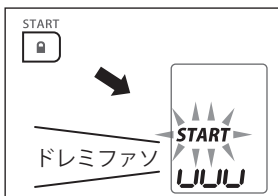
●リモコンでエンジンを始動させる

※車両のキーは抜いておいてください。

1 操作確認音『ピッ』が鳴るまで (エンジン) ボタンを押す

"E"が点滅します。

2 "E" が点滅中(約 3 秒間)に、『ドレミファソ』が鳴るまで (スタート)ボタンを押す

"**START**"が点灯し、送信アニメーションが表示され、信号を送信します。

3 エンジンが始動する

- 始動すると、アイドリング中はジャンクションユニットから断続音が鳴り続けます。(本機でエンジンを始動させたことを知らせます)
- 始動しなかったときは、リトライ機能がはたらきます。
- 始動した後、設定されている時間※が経過すると自動的にエンジンは停止します。
  ※アイドリング時間は 2 分から 30 分。(「アイドリング時間の設定」☛ 32 ページ参照)
- 車種や電装品によってはエンジンの始動確認ができず再始動(リトライ)を繰り返す場合や、エンジンが始動してもしばらくすると停止する場合があります。その際は、始動判定方法選択を「特殊判定」に変更してください。(「始動判定方法選択」☛ 37 ページ参照)
- 始動判定方法選択を「特殊判定」に変更しても再始動を繰り返す場合は、オルタネータ線の接続(☛ 4 オルタネータ線について)が必要です。

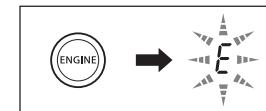
ご注意

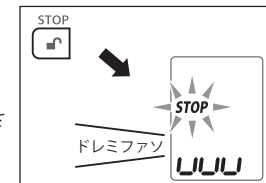
エンジンが始動しない場合は、取り付け状態やエンジンスターターの設定を再度ご確認ください。

5 エンジン始動の確認-2

●エンジンの始動が確認できたら、リモコンでエンジンを停止させる

1 操作確認音『ピッ』が鳴るまで (エンジン) ボタンを押す

"E"が点滅します。

2 "E" が点滅中(約 3 秒間)に、『ドレミファソ』が鳴るまで (ストップ)ボタンを押す

"**STOP**"が点灯し、送信アニメーションが表示され、信号を送信します。

別売品を接続する場合

「6 センサーハーネスによる各検出線の接続」に進んで下さい

別売品を接続しない場合

「7 ジャンクションユニットの取り付け」に進んで下さい

6 センサーハーネスによる各検出線の接続-1

別売品の接続を行います。
（車両側配線に接続する場合は、必ずテスターを使用してください）

ドアロック/アンロック線の接続
（キーレスエントリー（A-17SF）をご使用ください）　**別売品**

センサーハーネスのキーレスエントリー接続コネクターにキーレスエントリー：A-17SF（別売品）を接続します。ただし、車種ごとにコントロールが異なるため、別売品の接続が必要となる場合があります。詳しくは弊社エンジンスターター車種別専用ハーネス適応表でご確認ください。

コンライト出力線の接続（A-60をご使用ください）　**別売品**

●コンライト出力線を接続する前に

ライトスイッチを AUTO にし、エンジンを始動してください。
次に車両を暗い場所または照度検出センサに光が入らないようにしてください。
その後エンジンを切り、ドアを開けたときにライトが消灯しますか？消灯しない車両は、コンライト制御はできません。

※エンジンを切ると同時にライトが消灯する場合は、コンライト出力線（別売品）を接続する必要はありません。

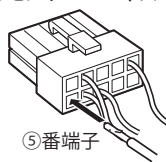
1 コンライト出力線の接続先を探す

コンライト出力線の接続先は、ほとんどの場合、ドアスイッチの配線に接続しますが、一部車種ではドアスイッチの配線が3～4本の車種もあり、判断しにくい場合があります。このようなときには、コンライト使用状態にし、各線をアースにおとして、コンライトが消灯した線に接続してください。

2 エレクトロタップを使って、コンライト出力線を接続する

※接続は ☛ 49ページ「エレクトロタップの使いかた」を参照して行ってください。接続後には、接続部を必ず絶縁テープでテーピングしてください。

3 コンライト出力線を、センサーハーネスの⑤番端子にしっかりと差し込む

●センサーハーネス

6 センサーハーネスによる各検出線の接続-2

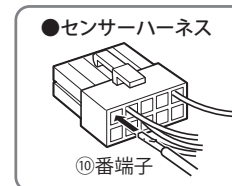
ハザード制御の接続
（ハザード制御（A-18SF）をご使用ください）　**別売品**

本機のリモコン操作でエンジンを始動すると、エンジン始動検出後にハザードランプを3回点滅させてお知らせします。また、本機によるエンジン始動中にも、リモコン操作によりアイドリング状態（3回点滅）の確認ができます。

ご注意

ハザードランプの制御はエンジンスターターが行いますので、緑線（4mと5m）は直接左右のハザードランプに接続してください。

1 ハザード制御：A-18SF（別売品）のハザード制御線（ピン端子付緑線）を、本機センサーハーネスの⑩番端子にしっかりと差し込む

●センサーハーネス

2 ハザード制御：A-18SF(別売品)の+電源、アース線、ハザードランプ線を接続する

※接続は「エレクトロタップの使いかた」を参照して行ってください。接続後には、接続部を必ず絶縁テープでテーピングしてください。

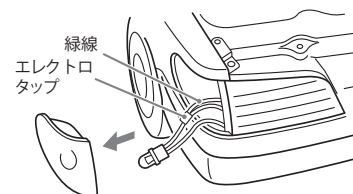
●ハザード制御：A-18SF（別売品）

車両のキーを抜いた状態でも通電している（常時+12V）線にエレクトロタップを使用して接続（赤）

車両の塗装されていない既存のビスなどに接続（黒）

12V 出力（4m ／ 5m）
左右のハザードランプ（プラス線）に接続

ピン端子のない緑線は、それぞれ左右のハザードランプに接続します。

※ 緑線（2 本：4m と 5m）は長さが異なります。2 本の長さを比べ、短い方（4m）をメインユニットに近いランプに接続してください。また、車両によっては左右、前後が別系統の配線になっていることがあります。このような場合は、緑線を分岐して各ランプに接続してください。

6 センサーハーネスによる各検出線の接続-3

ドア検出線の接続（A-60をご使用ください） 別売品

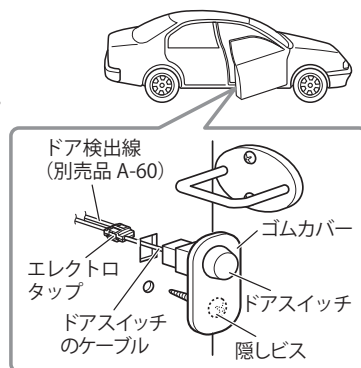
車両のドアスイッチケーブルなどに接続することにより、ドアを開けたときに本機アイドリングを停止させることができます。

1 ドア検出線の接続先を探す

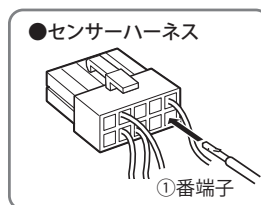
ご注意

接続先はサーキットテスターで確認してください。
（ドア開時…0V、ドア閉時…12V）

2 エレクトロタップを使って、ドアスイッチケーブルなどにドア検出線を接続する

※接続は「エレクトロタップの使いかた」を参照して行ってください。接続後には、接続部を必ず絶縁テープでテーピングしてください。

メモ

- 一部の車種では、ドア内にスイッチが入っています。このような場合は、ルームランプなどのドアに連動して信号が発生するケーブルに取り付けてください。
- ルームランプなどの信号線にドア検出線を接続する場合は、ドアが開いた状態で必ずルームランプが点灯するように、ルームランプスイッチを設定してください。

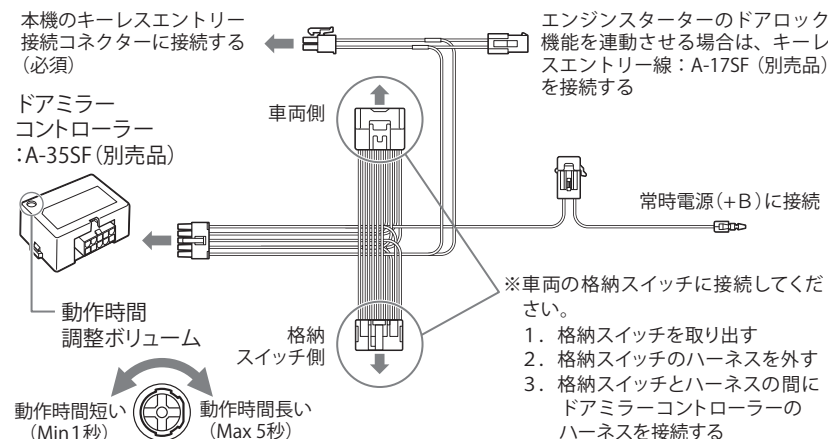
3 ドア検出線を、センサーハーネスの①番端子にしっかりと差し込む

ドアミラーコントローラーの接続（A-35SFをご使用ください） 別売品

弊社エンジンスターターのリモコン操作（ドアロック・アンロック）で、ドアミラーの格納・復帰ができます。
※適応車種限定……詳しくは、車種別専用ハーネス適応表をご確認ください。

リモコン操作	ミラーの状態
ドアロック	格納
アンロック	復帰

ご注意

リモコンでドアミラーを操作したときは車両の格納スイッチとミラーの状態が一致しないことがあります。このような場合は、格納スイッチを操作してスイッチの状態とドアミラーの状態を一致させると操作できます。

■ 基本接続図

● 取付後はドアミラーを復帰状態にして、エンジンスイッチを押し、OFF→ACC（ON）→OFF の操作を行ってください。

■ 動作時間の調整

ドアミラー駆動用モーターの動作時間を調整できます。
ドアミラーが完全に格納（復帰）しない場合は、動作時間調整ボリュームで調整してください。調整は 1 ～ 5 秒（初期値　約 1 秒）の間で調整できます。

使用上のご注意

- 車両のバッテリーを交換した後は、ドアミラーを復帰状態にして、エンジンスイッチを押し、OFF→ACC（ON）→OFFの操作を行ってください。
- エンジンスイッチをOFFにする際は、格納スイッチを復帰状態にしてください。格納状態ではリモコンで操作できません。

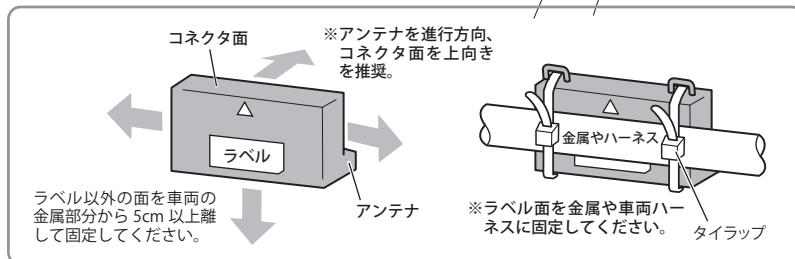
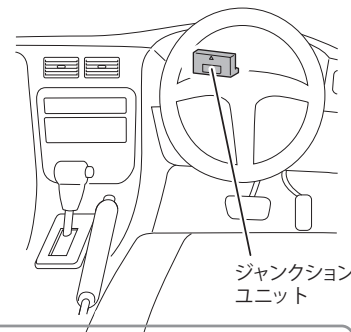
「7 ジャンクションユニットの取り付け」に進んで下さい

7 ジャンクションユニットの取り付け

ジャンクションユニットは、タイラップや両面テープなどを使用して、運転の妨げとならないように、インパネの内側など、できるだけ高い位置にしっかりと固定し、タイラップなどを使用して配線処理をしてください。

市販品の両面テープを使って仮取り付けした後、固定する。

※走行中の振動で容易に外れないように付属のタイラップで、ジャンクションユニットを固定してください。

※ジャンクションユニットのラベル以外の面を車両の金属部分から5cm以上離して固定してください。通信距離が短くなったり、通信が不安定になることがあります。

ご注意

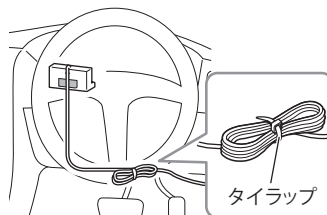
その他の場所に設置する場合は、次のような場所は避けてください。

・エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
・直射日光の当たる場所。
・不安定な場所。

8 配線処理について

すべての取り付けが終わったら、以下の要領で配線処理をしてください。
配線処理は、ケーブル類の長さ、配線場所などを十分考慮して決めてください。

■タイラップによる配線処理

ダッシュボード内を通るケーブル類は、既存のハーネスなどに市販のタイラップを用いて共締めします。
余分なケーブルは束ねて共締めしてください。

■ドアのすき間から車内に線を引き込んだ場合

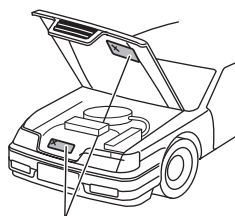
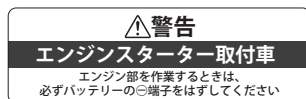
ドアの開閉時に線を噛まないように少したるみをもたせて配線処理をしてください。

9 「ご注意ステッカー」を貼り付けてください

本機を取り付けた車両を、第三者が使用した場合にも安全にお使いいただくため、付属のステッカーを必ず貼り付けてください。

■ご注意ステッカー（大）の貼り付け

ボンネットの裏側で、エンジンの熱を直接受けない場所に目立つように貼り付けます。（ワンボックスカーの場合はエンジンルームの開閉カバー）

⚠警告
エンジンスターター取付車
エンジン部を作業するときは、
必ずバッテリーの⊖端子をはずしてください

ご注意ステッカー（大）

■ご注意ステッカー（小）の貼り付け

ボンネットオープナーなどに目立つように貼り付けます。（ワンボックスカーの場合はエンジンルームのオープナー）

ご注意ステッカー（小）

必要に応じてセル時間、アイドリング時間、ターボタイマー機能のON/OFF等を設定します。（☛32ページ「エンジンスターターの設定」参照）
設定後、エンジンの始動、ドアロック動作、ターボタイマーの動作を確認します。

ユピテルご相談窓口

製品の取り付け、取り扱いなどでご不明な点がございましたら、
お客様ご相談センター **0564-45-6515** までお問い合わせください。

※お客様ご自身での取付作業に対するサポートは行っておりません。

受付時間　9：00～17：00
月曜日～金曜日（祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く）

⚠警告

- エアバッグ上やエアバッグの妨げとなる場所に取り付けたり、配線しないでください。エアバッグが正常に動作しなかったり動作したエアバッグで本体が飛ばされ、事故やケガの原因となります。
- 運転や視界の妨げにならない場所、または自動車の機能（ブレーキ、ハンドルなど）の妨げにならない場所に取り付け・配線をしてください。誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

⚠注意

- 取り付けは確実に行ってください。落ちたりしてケガの原因となります。
- 地域により車両の停車中にみだりにエンジンを始動させた場合、条例等により罰則を受ける場合がありますので、ご注意ください。

お願い

車両の引き渡し時には、お客様に接続・設定の状況と操作の説明、特に安全機能の説明を十分に行ったうえで、本書をお渡しください。